

阿南市建物系公共施設 個別施設計画

令和3年2月

(令和8年5月一部改訂)

阿南市

目 次

第 1 章 個別施設計画について	1
1 個別施設計画の策定の背景・目的	1
2 計画の位置付け	1
3 計画対象期間	2
4 計画対象施設	3
第 2 章 阿南市の公共施設の現状	4
1 公共施設の老朽化状況	4
2 施設の劣化状況調査	5
第 3 章 公共施設の管理に関する方針等について	6
1 適切な維持管理	6
2 耐用年数について	6
3 目標使用年数について	6
4 長寿命化改修について	7
5 点検・診断等の実施	7
6 工事の優先順位	8

7 施設の基本方針	9
-----------------	---

8 施設の更新費用	10
-----------------	----

第 4 章 個別施設計画

市民文化系施設

社会教育系施設

スポーツ・レクリエーション系施設

産業系施設

学校教育系施設

子育て支援施設

保健・福祉施設

医療施設

行政系施設

公園

その他

第 1 章 個別施設計画について

1 個別施設計画の策定の背景・目的

我が国においては、少子高齢化、人口減少等の進行により生活様式や社会構造が大きく変化してきており、これによる財政状況の悪化や多大な公共施設の保有による維持管理費・更新費用の増大等の問題が生じています。このような問題は本市においても例外ではありません。希望のある明るい未来の阿南市に向け、自治体経営やまちづくりを再考する必要があります。次世代につなげる持続可能なまちづくりを行うことは我々の責務です。

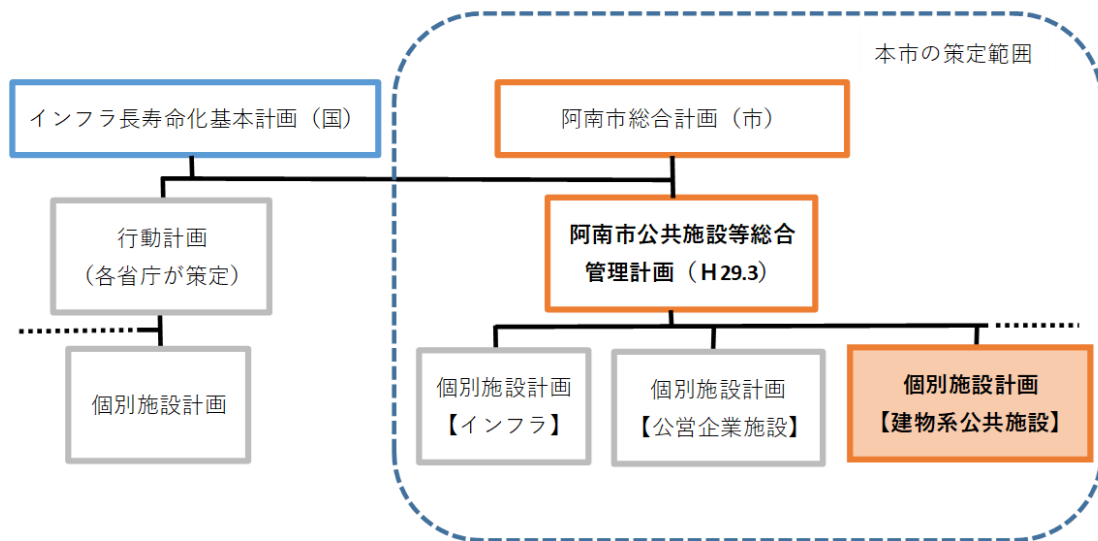
本市では、次世代への負担軽減を念頭に、限られた資源を有効活用し、施設の適正配置実現への取組を促進いたします。これにより、誰もが安心して健康で快適に暮らせる生活環境の整備と適切な行政サービスを提供できる持続可能なまちづくりを目指します。市民の皆様と共に本市の課題に取り組み、より良い本市のまちづくりを行う契機とするため個別施設計画を策定いたしました。

2 計画の位置付け

本市は、「阿南市公共施設等総合管理計画」(以下「総合管理計画」という。)を平成29年3月に策定・公表し、公共施設全般における基本方針、管理方針とともに、施設類型ごとの管理に関する基本的な考え方を示しました。阿南市建物系公共施設個別施設計画(以下「本計画」という。)は、総合管理計画の考え方を踏襲し公共施設毎の基本的な方針等を定めたものです。

また、本計画は、国の策定したインフラ長寿命化基本計画で位置付けられている個別施設毎の長寿命化計画として、所管課において各施設の特性や維持管理、更新等に係る取り組み状況をふまえて策定したものです。インフラ長寿命化基本計画で示されている『インフラ機能の確実かつ効率的な確保』、『多様な施策・主体との連携』及び本計画において位置付けた『公共施設に関する方針等について』を本計画の基本とし、今後時代と共に変化する社会の要請や、広く市民の皆様の意見を伺いつつ、中長期的な視点で市が保有する各施設の具体的な将来の方向性を定めることとします。

《公共施設等に関する計画体系》



3 計画対象期間

本計画に基づく取り組みは、本市の総合管理計画と連動することから2056年までを終期とし、計画期間を36年間とします。計画期間区分についても、総合管理計画との連動から下表のとおり設定します。ただし、施設の更新費用の試算については、2021年度から2060年度までの40年間で行います。なお、事業内容の調整や社会情勢の変化等により、計画の見直しが必要となった場合は、適宜見直しを行います。

マネジメント計画期間	期 間(西 暦)
第1期計画期間	2021年度から2026年度末まで
第2期計画期間	2027年度から2036年度末まで
第3期計画期間	2037年度から2046年度末まで
第4期計画期間	2047年度から2056年度末まで

4 計画対象施設

本計画は、本市が所有する施設のうち、建物系公共施設を対象とします。ただし、延床面積が50㎡以下の建物であり、かつ維持管理費用が比較的少ない倉庫、物置、公衆便所等については本計画の対象から除外しています。

	大分類	中分類	小分類
建物系公共施設	市民文化系施設	集会施設	集会所・公会堂、コミュニティセンター・公民館・隣保館
		文化施設	市民会館・文化会館・情報文化センター
	社会教育系施設	図書館	図書館
		博物館等・その他	民俗資料館・科学センター・ふるさと館・牛岐城趾館・教育集会所
	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	スポーツ総合センター・体育館・艇庫・武道館
		レクリエーション施設	健康スポーツランド管理棟
		保養施設	温泉保養施設
	産業系施設	産業系施設	商工業振興センター・道の駅・中林漁民センター・勤労女性センター・スマート・ワークオフィス・社会福祉会館・農業施設・農機具倉庫
	学校教育系施設	その他教育施設	給食センター
	子育て支援施設	幼保・こども園	幼稚園・保育所・認定こども園
		幼児・児童施設	子育て支援施設・児童館
	保健・福祉施設	高齢福祉施設	老人ルーム・老人いこいの家・デイサービスセンター・ふれあいセンター
		保健施設	ひまわり会館・健康交流センター・健康づくりセンター
	医療施設	医療施設	診療所
	行政系施設	庁舎等	市役所庁舎・支所・消費者生活室・富岡防災倉庫
		消防施設	消防署・消防団詰所
		その他行政系施設	環境管理事務所
	公園	公園	倉庫等
	その他	その他	葬斎場・教員住宅・共同作業場

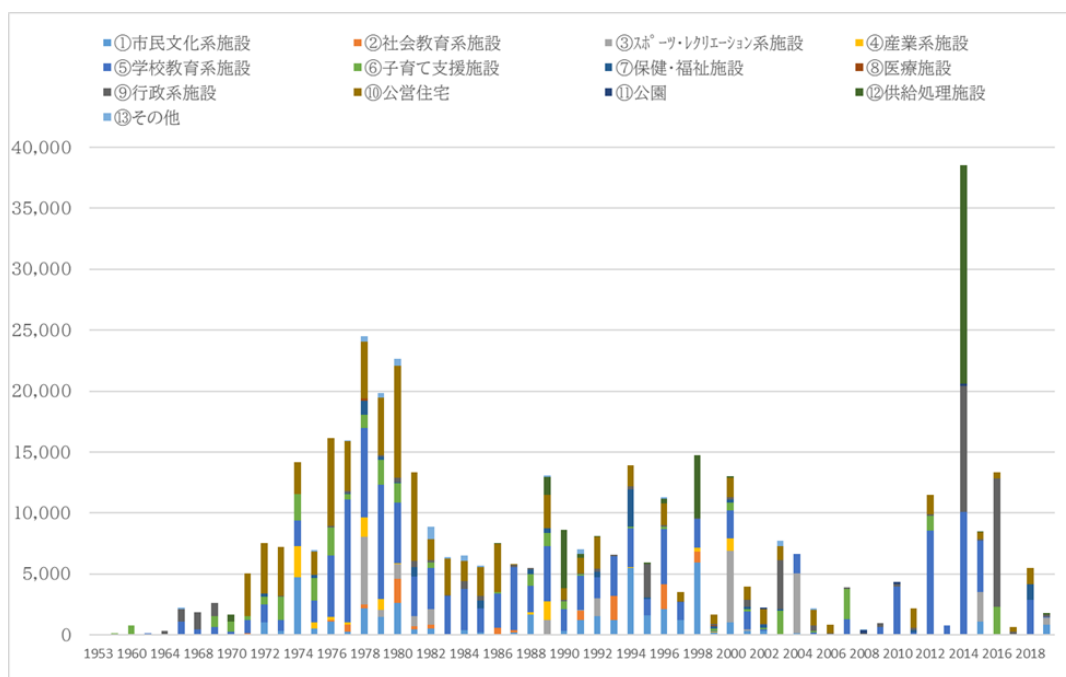
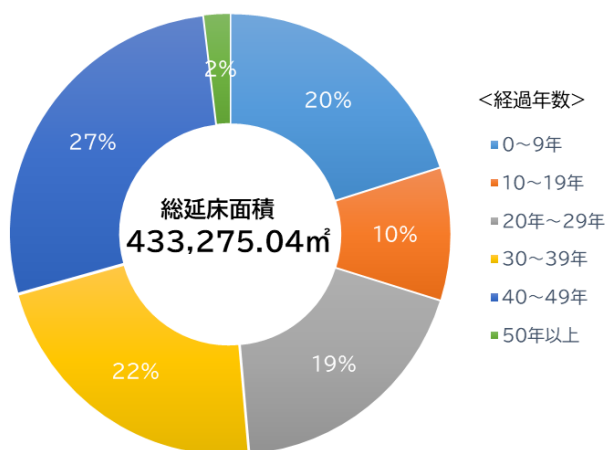
※ 本市には上記対象施設のほかに、小学校・中学校、公営住宅、公園管理棟、供給処理施設、インフラ施設（道路や橋梁等）、企業会計施設等があります。これらについては、別途計画を策定予定及び策定済みであるため除外します。

第 2 章 阿南市の公共施設の現状

1 公共施設の老朽化状況

本市の公共施設は、昭和49(1974)年から昭和56(1981)年までの8年間に多く建築されています。延床面積から施設を分析した際、建築から30年以上を経過した施設が全体の約5割あり、施設の老朽化が進んでいることがわかります。また、建築から20年以上を経過した施設をあわせると、全体の7割程度あるため、今後急激に施設の老朽化が進み、施設維持のための改修費や更新費用が増大することが予想されます。

経過年数別施設保有状況 (令和2年3月末時点)



建築年度別延床面積の整備状況(令和2年3月末時点)

2 施設の劣化状況調査

公共施設の老朽化状況等を把握するため、現地調査を行いました。現地調査は、各公共施設の不具合箇所等を目視で確認したものです。

現況調査概要

<p>①屋根・屋上</p> <p>屋根・屋上の構造や防水シートの損傷状況等を確認</p>		
<p>②外壁</p> <p>外壁の構造やひび割れ・亀裂等を確認</p>		
<p>③内部</p> <p>天井・壁・床・窓等の損傷状況や雨漏りの有無等を確認</p>		
<p>④電気設備・照明</p> <p>空調設備や照明器具等の電気設備の不具合を確認</p>		
<p>⑤給排水・水回り</p> <p>給湯室や便所等の水回り設備の不具合等を確認</p>		
<p>⑥附属設備</p> <p>手すりやフェンス等の附属設備の損傷状況等を確認</p>		

第 3 章 公共施設の管理に関する方針等について

1 適切な維持管理

本市では「予防保全」を導入し、施設の長寿命化や、施設全体に係るコストの引き下げを図ります。不具合が発生した際にその都度対応する「事後保全」では、施設の経年劣化が早くなり建て替えの時期が早くなる傾向がありますが、「予防保全」では小規模な改修工事や点検・保守・修繕を定期的に行い施設性能・機能を一定レベルに保つことができます。

また、日常点検の実施や情報の共有等を行うことにより適切な施設の維持管理を推進します。

2 耐用年数について

耐用年数は、工事の実施時期や施設の老朽化を検討する際の目安となります。法定耐用年数を経過した施設であっても、適切な維持管理を行うことにより物理的耐用年数を延ばし施設を長期的に使用することが可能となります。

耐用年数の分類

物理的耐用年数	建物躯体や部位・部材が物理的、化学的原因により劣化し、要求される限界性能を下回る年数
経済的耐用年数	継続使用するための補修・修繕費やその他の費用が、改築または更新する費用を上回る年数
法定耐用年数	固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた年数
機能的耐用年数	使用目的が当初計画から変更、または、建築技術の進展や社会的な要求の向上・変化に対して陳腐化する年数

3 目標使用年数について

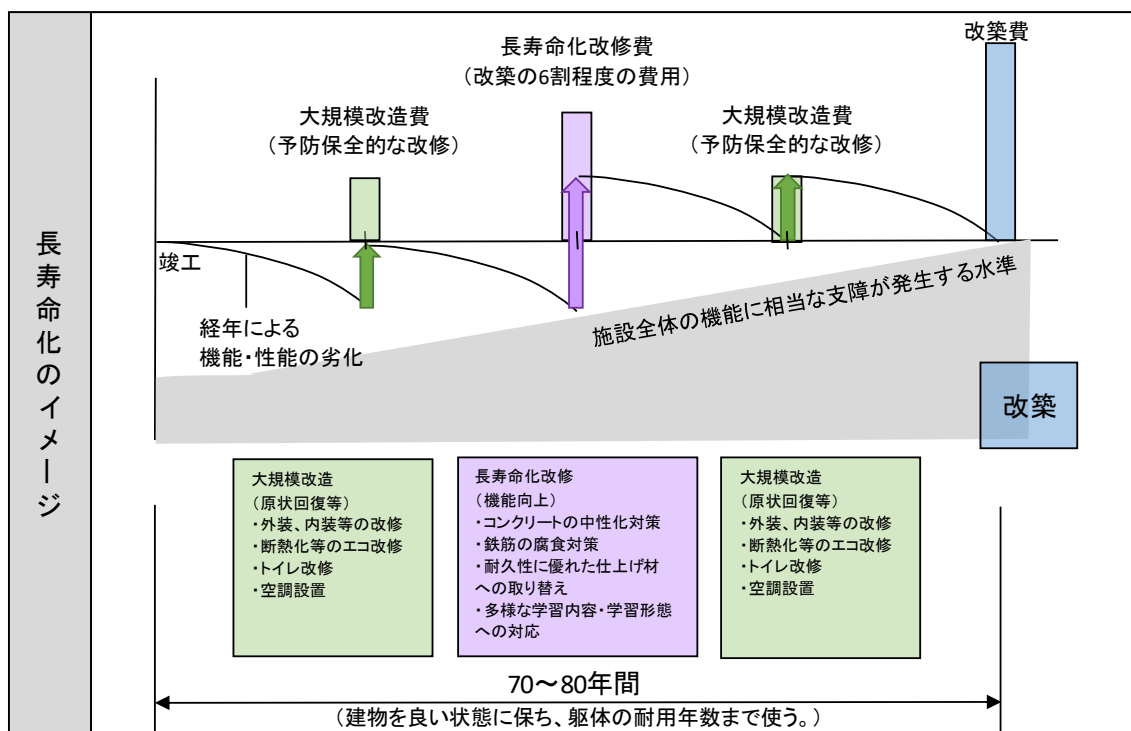
既存施設及び新築施設の長寿命化の目標使用年数として、「建築物の耐久計画に関する考え方」(日本建築学会)を参考に下表のように設定します。

構造別目標使用年数

鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造
80年	80年	50年

4 長寿命化改修について

長寿命化を図る施設については、予防保全的な改修を行い、建物を良い状態に保ち躯体の耐用年数まで使用することを目指します。計画的に予防保全的な改修を行うことにより施設の性能・機能を一定レベルに保ちつつ、目標使用年数の中間年で長寿命化改修を行い施設の性能・機能を引き上げます。



5 点検・診断等の実施

建物は、数多くの部品・部材や設備機器など様々な素材が組み合わされて構成され、それぞれの目的と機能をもっています。それらの部材や設備機器は、使い方や環境及び経年変化から生じる汚れ、損傷、老朽化の進行に伴い本来の機能を低下させていきます。日常管理では、建物を維持管理するための日常の点検・保守によって、建物の劣化及び機能低下を防ぎ、建物を美しく使っていくための総合的な管理運営や点検・保守・整備などの業務を行います。

6 工事の優先順位

本市の財政状況下においては、公共施設の更新を実施するにあたり、全ての施設を即時に対応することは不可能であり、工事実施の優先順位をあらかじめ決定しておく必要があります。公共施設の安全性、機能性、経済性、代替性、社会性の5つの視点から総合的に判断を行い、工事の優先順位を決定します。

視 点	判 断 内 容
安全性	放置しておく利用者に対して、人的及び物理的被害を及ぼすおそれがあるもの (例)部材の落下や崩落、消防設備の不備
	施設及び敷地において、悪影響を及ぼすおそれがあるもの (例)換気や通風不足による異臭、機器故障による騒音
	改修により施設の長寿命化・耐震化・機能改善が見込まれるもの (例)屋根防水の改修、外壁塗装、亀裂補修等
機能性	設置当初の要求事項が満たせなくなったもの (例)漏水・雨漏り、設備機器の故障
経済性	予防保全により施設全体に係るコストの引き下げが見込まれるもの (例)早期対応により、損害の拡大・費用増大を防止できるもの
代替性	設備や機能として替えが効かないまたは故障時において、部品等の確保が困難なもの (例)部品が入手できない
社会性	市民や社会のニーズの変化により、利用者の満足度を満たせなくなったもの (例)LED電灯への交換、バリアフリー、省エネルギー化等

7 施設の基本方針

本市では、総合管理計画における公共施設等の見直しの検討手順に沿って、施設ごとの基本的な方針を下記の5つに類型化しました。この基本的な方針をもとに、各公共施設を整理しました。

基本的な方針

番号	方針	内容
1	施設保有量の最適化を検討	施設の除却・売却・民間移譲等の検討を行い施設保有量の最適化を図る。施設機能は、同種施設や近隣施設への統合等を検討する。
2	集約化、複合化を検討	施設の適正配置の観点等から、施設の集約化又は複合化を行う。
3	更新を検討	施設の老朽化等を理由に、施設の建て替えを行う。
4	長寿命化を検討	耐用年数を超えて使用できるよう施設の改修を行う。
5	適切な維持管理を行い継続利用	計画的な予防保全の考え方にに基づき、施設を維持管理、修繕等を行い現状のまま利用を継続する。

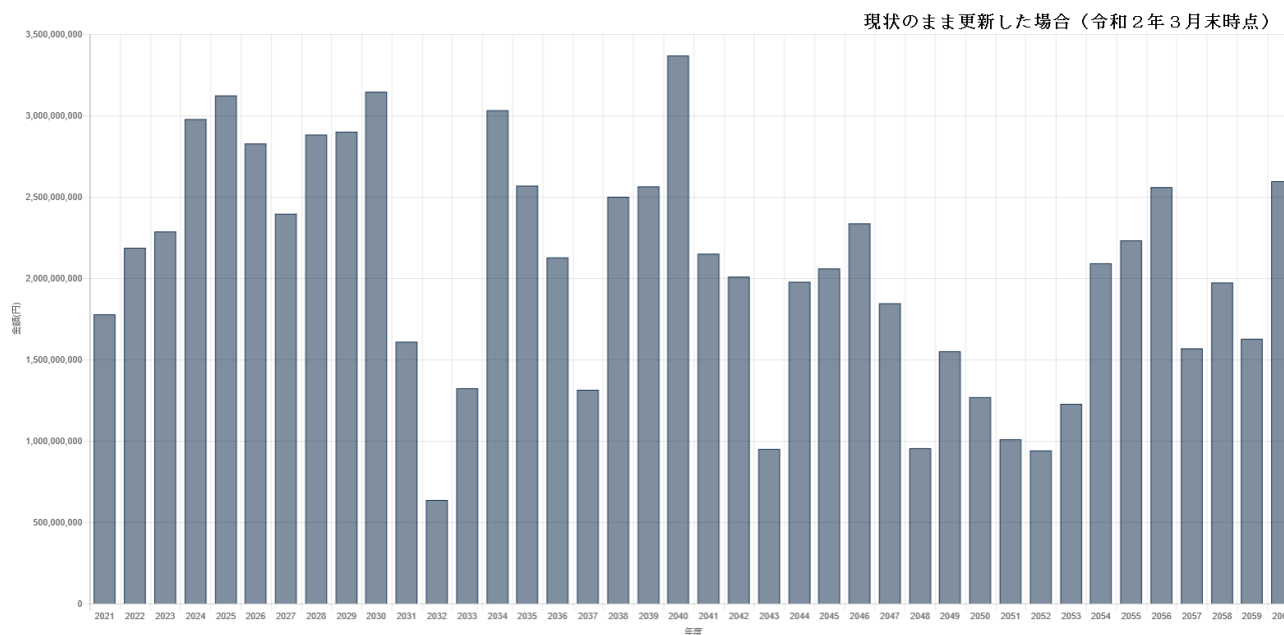
※ 各施設において定めた基本的な方針は、本計画策定後においても施設の利用状況や維持管理費用等の調査・検討を継続して行い、所管課において必要が生じた場合は変更を行います。

8 施設の更新費用

本計画の対象施設についても総合管理計画と同様の方法を用いて更新費用を試算しました。更新費用の試算は、2021年度から2060年度までの40年間を対象期間として行いました。

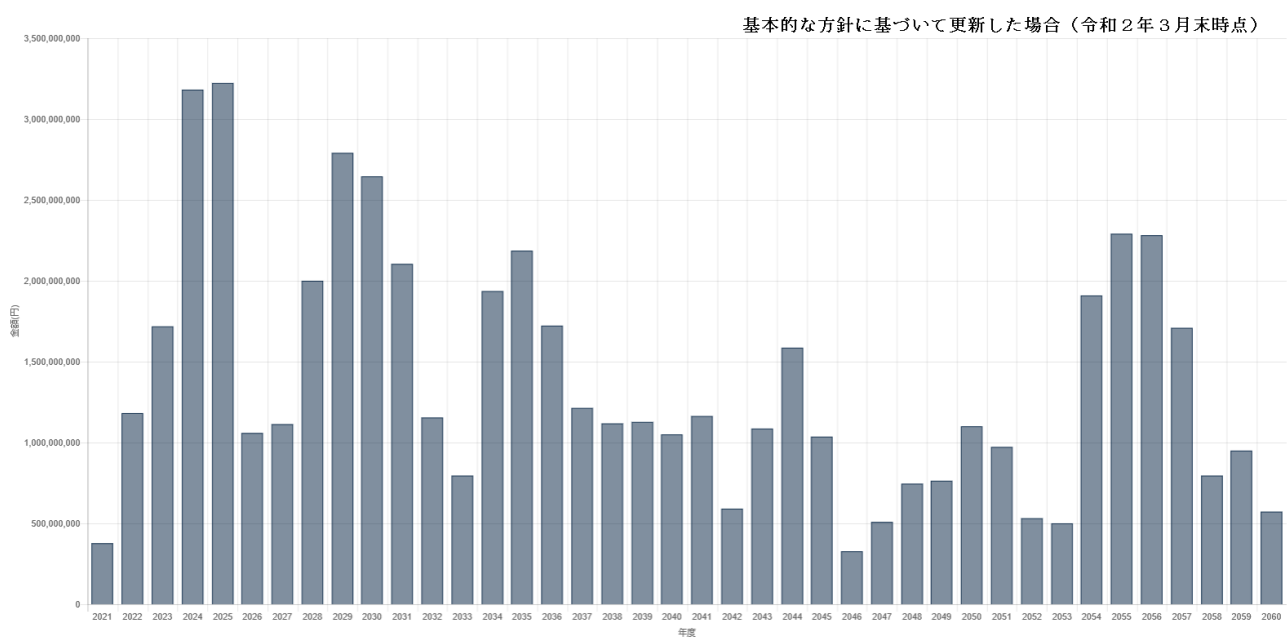
(1) 現状のまま施設更新を実施した場合

○今後40年間の更新費用 824.7億円 ○1年あたり 20.6億円



(2) 施設の基本方針に基づいて施設更新を実施した場合

○今後40年間の更新費用は 551.3億円 ○1年あたり 13.8億円



第 4 章 個別施設計画

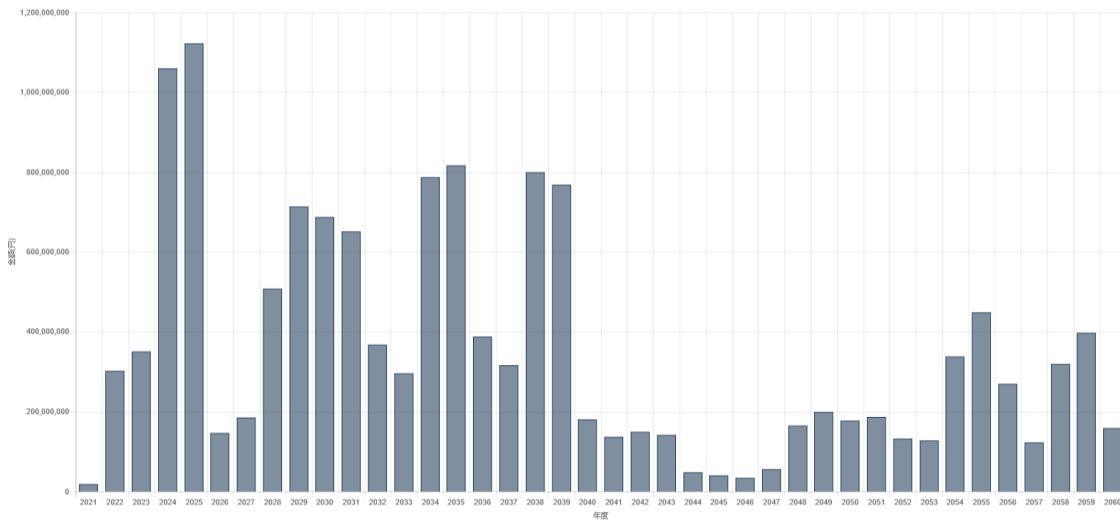
市民文化系施設

市民文化系施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
集会施設	集会所	26	2,698.29 m ²
	公会堂	15	1,597.71 m ²
	コミュニティセンター	11	1,591.03 m ²
	公民館	34	19,955.81 m ²
	隣保館	9	2,812.81 m ²
文化施設	市民会館	1	4,320.00 m ²
	文化会館	1	4,525.00 m ²
	情報文化センター	1	5,041.00 m ²
合計		98	42,541.65 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替費用 141.2億円 / 1年あたり 3.5億円



市民文化系施設

No.	施設名称	No.	施設名称
1	春日野西集会所	51	橘町総合センター
2	山分集会所	52	大瀨会館
3	中庄集会所	53	つばき会館
4	塚原集会所	54	福井町総合センター
5	はり集会所	55	椿公民館椿泊分館
6	西在所集会所	56	羽ノ浦公民館
7	明見集会所	57	橘公民館鶺分館
8	羽ノ浦集会所	58	大野公民館上大野分館
9	野神集会所	59	大野公民館中大野分館
10	古庄在所集会所	60	新野公民館
11	傍示集会所	61	中野島公民館上中分館
12	浦川西集会所	62	富岡公民館
13	大原集会所	63	加茂谷総合センター
14	岩脇福祉会館	64	大野公民館下大野東部分館
15	大西・古津集会所	65	富岡公民館学原分館
16	あすみが丘集会所	66	桑野公民館山口分館
17	大宮地区集会所	67	津乃峰総合センター
18	椿地地区集会所	68	長生隣保館
19	後戸地区集会所	69	大京原会館
20	曲地区集会所	70	黒地文化センター分館
21	新浜コミュニティセンター	71	中島会館
22	大谷・小谷地区集会所	72	大京原会館分館
23	伊島地区集会所	73	富岡隣保館
24	あすみが丘ふくしサロン	74	大野隣保館
25	福井コミュニティハウス	75	黒地文化センター
26	加茂谷コミュニティセンター	76	新野隣保館多目的集会所
27	林崎コミュニティセンター	77	西馬場公会堂
28	深瀬町コミュニティセンター	78	東馬場公会堂
29	日開野コミュニティセンター	79	住吉公会堂
30	中林コミュニティセンター	80	新富公会堂
31	椿町コミュニティセンター	81	郡公会堂
32	黒津地コミュニティセンター	82	長岡東公会堂
33	ゆたか野コミュニティセンター	83	東馬場南公会堂
34	岡元コミュニティセンター	84	動々原公会堂
35	西方コミュニティセンター	85	片山公会堂
36	桑野コミュニティセンター	86	宮原総合センター
37	見能林公民館津乃峰分館	87	黒地公会堂
38	加茂分館	88	そうず谷公会堂
39	羽ノ浦公民館那東分館	89	中島公会堂
40	那賀川公民館	90	大京原公会堂
41	羽ノ浦公民館古庄分館	91	本庄公会堂
42	宝田公民館	92	中野島総合センター
43	橘公民館鶺分館(旧)	93	市民会館
44	那賀川公民館平島分館	94	文化会館
45	羽ノ浦公民館春日野分館	95	情報文化センター
46	見能林公民館	96	羽ノ浦公民館古毛分館
47	桑野公民館	97	大野公民館
48	加茂谷公民館楠根分館	98	しらさぎ集会所
49	長生公民館		
50	見能林公民館中林分館		

1 施設の基本情報

施設名称	春日野西集会所		
所在地	羽ノ浦町春日野1-125		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	72.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
春日野西集会所	72.00 m ²	RC造	S49.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	山分集会所		
所在地	羽ノ浦町宮倉沢田56		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	76.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
山分集会所	76.00 m ²	RC造	S53.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中庄集会所		
所在地	羽ノ浦町中庄宮ノ前14-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	76.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中庄集会所	76.80 m ²	RC造	S53.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	塚原集会所		
所在地	羽ノ浦町中庄中須3-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	76.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
塚原集会所	76.80 m ²	RC造	S53.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	はり集会所		
所在地	羽ノ浦町岩脇中須84-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	73.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
はり集会所	73.00 m ²	RC造	S53.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	西在所集会所		
所在地	羽ノ浦町岩脇西園47-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	80.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
西在所集会所	80.50 m ²	RC造	S53.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	明見集会所		
所在地	羽ノ浦町明見203		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	138.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
明見集会所	138.80 m ²	RC造	S53.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦集会所		
所在地	羽ノ浦町宮倉羽ノ浦居内131-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	125.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦集会所	125.40 m ²	RC造	S53.6	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	野神集会所		
所在地	羽ノ浦町中庄神木59-9		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	126.36 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
野神集会所	126.36 m ²	RC造	S53.6	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	古庄在所集会所		
所在地	羽ノ浦町古庄宮ノ後77		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	115.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
古庄在所集会所	115.50 m ²	RC造	S54.7	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	傍示集会所		
所在地	羽ノ浦町岩脇神代地59-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	80.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
傍示集会所	80.40 m ²	RC造	S54.9	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	浦川西集会所		
所在地	羽ノ浦町中庄原ノ内7-5		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	110.21 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
浦川西集会所	110.21 m ²	S造	S61.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大原集会所		
所在地	福井町大原122-3		
施設分類	市民文化系施設	所管課	環境管理課
延床面積(対象)	136.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元住民のための集会所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大原集会所	136.80 m ²	RC造	H1.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現況において補修が必要な箇所等はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設の運営、管理を地元協議会に委託しており、地域振興対策事業を今後も継続していく予定である。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	岩脇福祉会館		
所在地	羽ノ浦町岩脇町筋20-3		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	215.37 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置。		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
岩脇福祉会館	215.37 m ²	S造	H3.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大西・古津集会所		
所在地	福井町大西50-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	環境管理課
延床面積(対象)	197.81 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元住民のための集会所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大西・古津集会所	197.81 m ²	RC造	H5.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨もり跡、窓廻りの水の侵入跡、ベランダの傷み等がある。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設の運営、管理を地元協議会に委託しており、地域振興対策事業を今後も継続していく予定である。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	あすみが丘集会所		
所在地	羽ノ浦町岩脇奥ノ谷6-214		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	112.44 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
あすみが丘集会所	112.44 m ²	木造	H7.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大宮地区集会所		
所在地	福井町大宮101		
施設分類	市民文化系施設	所管課	企画政策課
延床面積(対象)	165.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の小集会の開催と住民相互のコミュニケーションを図る		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大宮地区集会所	165.00 m ²	RC造	H7.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	石炭火電立地に伴う地域振興策として整備された施設であり、地元で土地・建物を貸付け、管理運営を委ねている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	土地・建物の使用貸借契約を地元と締結し、管理運営費及び維持費は地元負担としている。今後も地元が継続的に管理運営を行う。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	椿地地区集会所		
所在地	福井町色面54-10		
施設分類	市民文化系施設	所管課	企画政策課
延床面積(対象)	60.06 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の小集会の開催と住民相互のコミュニケーションを図る		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
椿地地区集会所	60.06 m ²	RC造	H7.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	石炭火電立地に伴う地域振興策として整備された施設であり、地元で土地・建物を貸付け、管理運営を委ねている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	土地・建物の使用貸借契約を地元と締結し、管理運営費及び維持費は地元負担としている。今後も地元が継続的に管理運営を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	後戸地区集会所		
所在地	福井町浜田162		
施設分類	市民文化系施設	所管課	企画政策課
延床面積(対象)	119.72 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の小集会の開催と住民相互のコミュニケーションを図る		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
後戸地区集会所	119.72 m ²	RC造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	石炭火電立地に伴う地域振興策として整備された施設であり、地元で土地・建物を貸付け、管理運営を委ねている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	土地・建物の使用貸借契約を地元と締結し、管理運営費及び維持費は地元負担としている。今後も地元が継続的に管理運営を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	曲地区集会所		
所在地	椿町小曲り24番地		
施設分類	市民文化系施設	所管課	企画政策課
延床面積(対象)	59.14 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の小集会の開催と住民相互のコミュニケーションを図る		
建物外観①		建物外観②	


2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
曲地区集会所	59.14 m ²	木造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	石炭火電立地に伴う地域振興策として整備された施設であり、地元土地・建物を貸付け、管理運営を委ねている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	土地・建物の使用貸借契約を地元と締結し、管理運営費及び維持費は地元負担としている。今後も地元が継続的に管理運営を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	新浜コミュニティセンター		
所在地	津乃峰町新浜18-28		
施設分類	市民文化系施設	所管課	企画政策課
延床面積(対象)	59.98 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の小集会の開催と住民相互のコミュニケーションを図る		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新浜コミュニティセンター	59.98 m ²	木造	H8.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	石炭火電立地に伴う地域振興策として整備された施設であり、地元土地・建物を貸付け、管理運営を委ねている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	土地・建物の使用貸借契約を地元と締結し、管理運営費及び維持費は地元負担としている。今後も地元が継続的に管理運営を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大谷・小谷地区集会所		
所在地	福井町小谷255		
施設分類	市民文化系施設	所管課	企画政策課
延床面積(対象)	75.14 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の小集会の開催と住民相互のコミュニケーションを図る		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大谷・小谷地区集会所	75.14 m ²	木造	H10.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	石炭火電立地に伴う地域振興策として整備された施設であり、地元土地・建物を貸付け、管理運営を委ねている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	土地・建物の使用貸借契約を地元と締結し、管理運営費及び維持費は地元負担としている。今後も地元が継続的に管理運営を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	伊島地区集会所		
所在地	伊島町瀬戸2-6		
施設分類	市民文化系施設	所管課	企画政策課 (生涯学習課)
延床面積(対象)	79.49 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の小集会の開催と住民相互のコミュニケーションを図る。集会所及び椿公民館伊島分館との複合施設。		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
伊島地区集会所	79.49 m ²	木造	H10.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	石炭火電立地に伴う地域振興策として整備された施設であり、地元土地・建物を貸付け、管理運営を委ねている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	土地・建物の使用貸借契約を地元と締結し、管理運営費及び維持費は地元負担としている。今後も地元が継続的に管理運営を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	あすみが丘ふくしサロン		
所在地	羽ノ浦町岩脇奥ノ谷12-35		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	70.87 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
あすみが丘ふくしサロン	70.87 m ²	木造	H13.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	福井コミュニティハウス		
所在地	福井町内歩66-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	97.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、地域対策事業で建設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
福井コミュニティハウス	97.00 m ²	S造	H25.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	地元が管理運営を行っており、今後も事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	加茂谷コミュニティセンター		
所在地	十八女町新開41-4		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	140.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
加茂谷コミュニティセンター	140.00 m ²	S造	S60.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	林崎コミュニティセンター		
所在地	見能林町林崎140-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	225.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
林崎コミュニティセンター	225.00 m ²	S造	S61.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	深瀬町コミュニティセンター		
所在地	深瀬町大畝町35-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	181.17 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
深瀬町コミュニティセンター	181.17 m ²	RC造	S63.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	日開野コミュニティセンター		
所在地	日開野町南居内322		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	237.78 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
日開野コミュニティセンター	237.78 m ²	S造	H4.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中林コミュニティセンター		
所在地	中林町南林4		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	129.96 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中林コミュニティセンター	129.96 m ²	S造	H6.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	椿町コミュニティセンター		
所在地	椿町旭野211-33		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	74.52 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
椿町コミュニティセンター	74.52 m ²	S造	H7.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	黒津地コミュニティセンター		
所在地	黒津地町新弥開16-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課 (生涯学習課)
延床面積(対象)	136.95 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置。コミュニティセンター及び富岡公民館東部分館との複合施設。		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
黒津地コミュニティセンター	136.95 m ²	S造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	ゆたか野コミュニティセンター		
所在地	那賀川町豊香野178		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	140.79 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
ゆたか野コミュニティセンター	140.79 m ²	木造	H9.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	分譲が完了するまで、住宅供給公社が管理する。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	岡元コミュニティセンター		
所在地	桑野町岡元59-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	130.46 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
岡元コミュニティセンター	130.46 m ²	S造	H10.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	西方コミュニティセンター		
所在地	長生町西方446-3		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	84.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
西方コミュニティセンター	84.50 m ²	S造	H11.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	桑野コミュニティセンター		
所在地	桑野町中野115-7		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課 (生涯学習課)
延床面積(対象)	109.90 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置。コミュニティセンター及び桑野公民館桑野分館との複合施設。		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
桑野コミュニティセンター	109.90 m ²	S造	H13.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元が管理運営を行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	地元が管理運営を行っているため、地元への移譲等を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	見能林公民館津乃峰分館		
所在地	津乃峰町東分83-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	497.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
見能林公民館津乃峰分館	497.00 m ²	RC造	S51.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	老朽化による建て替えにより、現在閉鎖中の施設である。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	機能移転済み施設であるため、除却、売却等の処分を検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	加茂分館		
所在地	加茂町不ヶ32		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	211.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	加茂谷総合センター建設に伴い、前の住民センターを地域の分館とし利用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
加茂分館	211.00 m ²	S造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用に支障はないが、設備は古く、施設の機能性、快適性は失われている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、老朽化により使用に耐えられなくなれば、処分を検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦公民館那東分館		
所在地	羽ノ浦町中庄トキ内59-6		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	332.58 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦公民館那東分館	332.58 m ²	RC造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁のひび割れや雨漏りが多数見受けられ、老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合を検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川公民館		
所在地	那賀川町今津浦喜来31-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	525.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川公民館	525.00 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕費が増加している。設備も古くバリアフリー化対策等安全面での対策が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適切な改修を行い、可能な限り施設を長く安全に利用できるよう維持管理する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦公民館古庄分館		
所在地	羽ノ浦町古野神13-5		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	502.29 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦公民館古庄分館	502.29 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁のひび割れや雨漏りが多数見受けられ、老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合を検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	宝田公民館		
所在地	宝田町久保田97-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	815.97 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
宝田公民館	815.97 m ²	RC造	S56.3	旧耐震基準・H26耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁のひび割れや雨漏り等による老朽化が進んでいる。設備も古いことから、空調設備の更新、バリアフリー化など、機能性、安全面を考慮した対策が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	可能な限り施設を長く安全に利用できるよう適切な改修を行う
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	橋公民館鳩分館(旧)		
所在地	橋町青木41		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	100.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	鳩分館建設に伴い、以前の分館を地域の集会所として利用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
橋公民館鳩分館(旧)	100.40 m ²	RC造	S56.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用に支障はない。機能移転済み施設であることから管理方法を検討する必要がある。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	機能移転済み施設であるため、除却、売却等の処分を検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川公民館平島分館		
所在地	那賀川町赤池307-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	544.42 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川公民館平島分館	544.42 m ²	RC造	S58.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	老朽化による雨漏り等の際には、応急的に修繕対応をしてきた。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合を検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦公民館春日野分館		
所在地	羽ノ浦町春日野1-52		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	98.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域の集会所として利用するため分館として管理		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦公民館春日野分館	98.00 m ²	S造	S60.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合を検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	見能林公民館		
所在地	見能林町念仏免4-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	1,365.40 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	地域の集会所として利用するため分館として管理		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
見能林公民館	1,365.40 m ²	RC造	S63.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられないが、設備の老朽化による故障が多く、空調設備の更新、バリアフリー化など、機能性、安全面を考慮した対策が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適切な改修を行い、可能な限り施設を長く安全に利用できるよう適切な改修を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	桑野公民館		
所在地	山口町内田150-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課 (市民生活課・介護・ながいき課)
延床面積(対象)	791.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置。公民館、住民センター、老人いこいの家の複合施設。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
桑野公民館	791.00 m ²	RC造	H4.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕、設備の維持管理、更新に要する費用の増加が考えられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	修繕等を行いながら、適切に維持管理していく。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	加茂谷公民館楠根分館		
所在地	楠根町奥山62		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	261.74 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域の集会所として利用するため建設。以降分館として管理。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
加茂谷公民館楠根分館	261.74 m ²	S造	H4.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長生公民館		
所在地	長生町上荒井楠ノ前4-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課 (市民生活課・介護・ながいき課)
延床面積(対象)	790.17 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置。公民館、住民センター、老人いこいの家の複合施設。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長生公民館	790.17 m ²	RC造	H5.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕、設備の維持管理、更新に要する費用の増加が考えられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	修繕等を行いながら、適切に維持管理していく。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	見能林公民館中林分館		
所在地	中林町原23-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	199.76 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
見能林公民館中林分館	199.76 m ²	木造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	橘町総合センター		
所在地	橘町豊浜36-15		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課 (市民生活課・介護・ながいき課)
延床面積(対象)	1,110.51 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置、住民センター、老人いこいの家の複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
橘町総合センター	1,110.51 m ²	RC造	H6.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕、設備の維持管理、更新に要する費用の増加が考えられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	設備の更新や修繕等を行いながら、適切に維持管理していく。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大瀧会館		
所在地	大瀧町214-16		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	369.52 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	地域の集会所として利用するため分館として管理		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大瀧会館	369.52 m ²	S造	H7.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	つばき会館		
所在地	椿町浜14		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課 (市民生活課・介護・ながいき課)
延床面積(対象)	940.60 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置、住民センター、老人いこいの家の複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
つばき会館	940.60 m ²	RC造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕、設備の維持管理、更新に要する費用の増加が考えられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	設備の更新や修繕等を行いながら、適切に維持管理していく。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	福井町総合センター		
所在地	福井町古津198-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課 (市民生活課・介護・ながいき課)
延床面積(対象)	791.07 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置、住民センター、老人いこいの家の複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
福井町総合センター	791.07 m ²	RC造	H8.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕、設備の維持管理、更新に要する費用の増加が考えられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	設備の更新や修繕等を行いながら、適切に維持管理していく。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	椿公民館椿泊分館		
所在地	椿泊町出島9-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	227.65 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
椿公民館椿泊分館	227.65 m ²	S造	H9.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦公民館		
所在地	羽ノ浦町宮倉大木38-4		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	888.48 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	合併に伴い、公民館として利用するため羽ノ浦町保健センターを転用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦公民館	888.48 m ²	SRC造	H9.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕、設備の維持管理、更新に要する費用の増加が考えられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	修繕等を行いながら、適切に維持管理していく。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	橋公民館鶉分館		
所在地	橋町塩田8-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	192.14 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
橋公民館鶉分館	192.14 m ²	S造	H9.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替え行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大野公民館上大野分館		
所在地	上大野町城ノ内68-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	188.25 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野公民館上大野分館	188.25 m ²	S造	H9.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大野公民館中大野分館		
所在地	中大野町南傍示132-3		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	181.34 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野公民館中大野分館	181.34 m ²	S造	H12.1	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	新野公民館		
所在地	新野町西馬場18		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課 (市民生活課)
延床面積(対象)	1,985.92 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置、住民センター、JAとの複合施設		
建物外観 (公民館)		建物外観 (振興センター)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野公民館	413.00 m ²	RC造	H10.3	新耐震基準
新野町農業振興センター	1,572.92 m ²	SRC造	S55.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	新野農業振興センターは、JAとの複合施設であるが、JAの移転により今後の管理が課題となっている。新野公民館は振興センターに増設された施設であり、設備を共有していることから、振興センターと共に管理が課題となっている。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	建築年の古い大きな施設であることから、費用対効果を考え、複合化を図るなど、様々な検討が必要である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中野島公民館上中分館		
所在地	上中町岡106-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	350.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中野島公民館上中分館	350.00 m ²	S造	H10.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	富岡公民館		
所在地	富岡町西池田135-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	982.49 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
富岡公民館	982.49 m ²	S造	H10.5	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕、設備の維持管理、更新に要する費用の増加が考えられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	設備の更新や修繕等を行いながら、適切に維持管理していく。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	加茂谷総合センター		
所在地	加茂町野上22-11		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課 (市民生活課・介護・ながいき課)
延床面積(対象)	965.79 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置、住民センター、老人いこいの家の複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
加茂谷総合センター	965.79 m ²	RC造	H12.6	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕、設備の維持管理、更新に要する費用の増加が考えられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	設備の更新や修繕等を行いながら、適切に維持管理していく。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大野公民館下大野東部分館		
所在地	下大野町柴根91-4		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	183.30 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野公民館下大野東部分館	183.30 m ²	S造	H14.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	富岡公民館学原分館		
所在地	学原町上水田17		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	102.18 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
富岡公民館学原分館	102.18 m ²	S造	H14.11	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	桑野公民館山口分館		
所在地	山口町森国118-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	128.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域の集会所として利用するため建設され、分館として管理		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
桑野公民館山口分館	128.00 m ²	S造	H17.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会所的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合、また地元への譲渡を含め検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	津乃峰総合センター		
所在地	津乃峰町長浜494		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課 (警防課)
延床面積(対象)	1,094.51 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	公民館分館機能と放課後児童クラブ、消防詰所を複合した津波避難ビル		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
津乃峰総合センター	1,094.51 m ²	SRC造	H27.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	建築後間もない施設のため、今は問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	適切な維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	長生隣保館		
所在地	長生町舟田58		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権男女参画課
延床面積(対象)	313.20 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	隣保館事業推進するための施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長生隣保館	313.20 m ²	RC造	S48.2	旧耐震基準・R2耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に亀裂があるなど、老朽化が進んでいる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期点検及び修繕等を行い施設を適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	大京原会館		
所在地	那賀川町大京原874-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権・男女共同参画課
延床面積(対象)	614.08 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	隣保館事業推進するための施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原会館	614.08 m ²	RC造	S48.3	旧耐震基準・R2耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	今後、耐震改修や改築が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	建設から50年以上が経過し、建物の老朽化が顕在化、耐震性も欠いていることから、耐震改修工事を行い、施設を長寿命化する。令和7年度に改修工事の設計、令和9年度以降において改修工事を実施する。あわせて、ユニバーサルデザインに対応したエレベーターの増設工事も実施する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	黒地文化センター分館		
所在地	那賀川町黒地703-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権男女参画課
延床面積(対象)	172.86 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	隣保館事業推進するための施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
黒地文化センター分館	172.86 m ²	RC造	S48.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	室内の雨漏りや外壁に亀裂があるなど老朽化が進んでいる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期点検及び修繕等を行い施設を適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	中島会館		
所在地	那賀川町中島1766		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権男女参画課
延床面積(対象)	216.05 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	隣保館事業推進するための施設		
建物外観 (会館)		建物外観 (分館)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中島会館	131.80 m ²	RC造	S49.5	旧耐震基準・R2耐震診断
中島会館分館	84.25 m ²	RC造	S49.5	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に亀裂があるなど、老朽化が進んでいる。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣施設等の状況を確認しつつ、施設の改修や複合化等の検討を進める。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原会館分館		
所在地	那賀川町大京原1055-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権男女参画課
延床面積(対象)	100.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	隣保館事業推進するための施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原会館分館	100.00 m ²	RC造	S53.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に亀裂があるなど、老朽化が進んでいる
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣施設等の状況を確認しつつ、施設の改修や複合化等の検討を進める。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	富岡隣保館		
所在地	富岡町寿通73-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権男女参画課
延床面積(対象)	403.41 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	隣保館事業推進するための施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
富岡隣保館	403.41 m ²	RC造	S54.1	旧耐震基準・R2耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	室内の雨漏りや外壁に亀裂があるなど老朽化が進んでいる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期点検及び修繕等を行い施設を適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	大野隣保館		
所在地	中大野町南傍示249-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権男女参画課
延床面積(対象)	419.61 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	隣保館事業推進するための施設		
建物外観 (隣保館)		建物外観 (集会所)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野隣保館	347.61 m ²	RC造	S57.3	新耐震基準
大野隣保館多目的集会所	72.00 m ²	木造	H13.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に亀裂があるなど、老朽化が進んでいる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期点検及び修繕等を行い施設を適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	黒地文化センター		
所在地	那賀川町黒地712-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権男女参画課
延床面積(対象)	314.60 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	隣保館事業推進するための施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
黒地文化センター	314.60 m ²	RC造	H2.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に亀裂があるなど、老朽化が進んでいる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期点検及び修繕等を行い施設を適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	新野隣保館多目的集会所		
所在地	新野町東馬場55-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権男女参画課
延床面積(対象)	259.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	隣保館事業推進するための施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野隣保館多目的集会所	259.00 m ²	RC造	H14.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設に不具合等は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期点検及び修繕等を行い施設を適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	西馬場公会堂		
所在地	新野町西馬場15-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	78.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
西馬場公会堂	78.00 m ²	RC造	S47.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	東馬場公会堂		
所在地	新野町馬場16-12		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	78.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	



2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
東馬場公会堂	78.00 m ²	RC造	S48.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	住吉公会堂		
所在地	住吉町須サキ270-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	78.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
東馬場公会堂	78.00 m ²	RC造	S48.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	新富公会堂		
所在地	新野町新富43-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	95.70 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新富公会堂	95.70 m ²	RC造	S49.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。上水道引き込みが未整備である。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	郡公会堂		
所在地	宝田町郡3-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	99.17 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
郡公会堂	99.17 m ²	RC造	S51.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。市営郡団地の敷地内にあり、入居者が使用している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長岡東公会堂		
所在地	横見町豊田58-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	84.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長岡東公会堂	84.00 m ²	RC造	S51.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	東馬場南公会堂		
所在地	新野町東馬場76-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	99.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
東馬場南公会堂	99.00 m ²	RC造	S51.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	動々原公会堂		
所在地	福井町吉谷136-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	128.71 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
動々原公会堂	128.71 m ²	RC造	S54.6	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	片山公会堂		
所在地	新野町助道118		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	99.60 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
片山公会堂	99.60 m ²	RC造	S55.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	宮原総合センター		
所在地	日開野町宮原78-75		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課 (人権教育課・生涯学習課)
延床面積(対象)	214.08 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置。公会堂、教育集会所、富岡公民館辰己分館の複合施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
宮原総合センター	214.08 m ²	RC造	S56.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	黒地公会堂		
所在地	那賀川町黒地石寺846、850		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	149.70 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
黒地公会堂	149.70 m ²	RC造	S60.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	そうず谷公会堂		
所在地	富岡町そうず谷1-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	78.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
そうず谷公会堂	78.00 m ²	S造	S62.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中島公会堂		
所在地	那賀川町中島川向1720-4		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	97.20 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中島公会堂	97.20 m ²	S造	S62.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原公会堂		
所在地	那賀川町大京原823-3		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	68.04 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原公会堂	68.04 m ²	S造	H4.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。本施設は市営大京原団地の敷地内にあり、入居者が利用している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	本庄公会堂		
所在地	長生町油免83		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	150.51 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
本庄公会堂	150.51 m ²	RC造	H9.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣類似施設の改修・更新の際に、施設の複合化や統合等を検討する。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中野島総合センター		
所在地	柳島町中川原20-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	人権教育課 (人権男女参画課・生涯学習課)
延床面積(対象)	1,130.29 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	教育集会所、隣保館及び中野島公民館との複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中野島総合センター	1,080.00 m ²	RC造	S54.6	旧耐震基準・H25耐震改修
中野島総合センター 昇降機	50.29 m ²	RC造	H17.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	施設の老朽化に対応するため防水等改修工事を行う。
計画期間	第1期計画

1 施設の基本情報

施設名称	市民会館		
所在地	富岡町北通9		
施設分類	市民文化系施設	所管課	文化振興課
延床面積(対象)	4,320.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	産業・文化に対する市民の理解を深め、地域活性化に繋げる		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
市民会館 講堂	2,266.00 m ²	S・RC造	S49.9	旧耐震基準・H30耐震診断
市民会館	2,054.00 m ²	RC造	S49.9	旧耐震基準・H30耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁のひび割れや天井の崩落、雨漏りなど施設内外に破損が生じている。
基本的な方針	集約化・複合化を検討
基本的な考え方	施設解体のうえ、阿南中央図書館の整備に際し、当館の有している地域住民の交流機能について複合機能として合築する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	文化会館		
所在地	富岡町西池田135-1		
施設分類	市民文化系施設	所管課	文化振興課
延床面積(対象)	4,525.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	文化芸術の健全な発展と市民の交流の推進を図る		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
文化会館 講堂	4,386.00 m ²	RC造	H11.3	新耐震基準
文化会館	139.00 m ²	RC造	H11.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	経年劣化により、舞台設備等の修繕が必要となっている。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	既に指定管理者制度を導入している。施設を適宜点検・改修を行い、適切に維持管理する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	情報文化センター		
所在地	羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3		
施設分類	市民文化系施設	所管課	文化振興課 (図書館)
延床面積(対象)	5,041.00 ㎡	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	文化芸術の健全な発展と市民の交流の推進を図る。文化センター、図書館との複合施設。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
情報文化センター	5,041.00 ㎡	RC造	H7.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	経年劣化により、舞台設備等の修繕が必要となっている。
基本的な方針	長寿命化を検討（図書館機能については集約化・複合化を検討する）
基本的な考え方	既に指定管理者制度を導入している。施設を適宜点検・改修し、適切に維持管理する。 阿南中央図書館の整備に伴い、図書館機能の集約化を推進する。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦公民館古毛分館		
所在地	羽ノ浦町古毛小谷口56		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	243.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域の集会所として有効利用するため農地整備課から移管		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦公民館古毛分館	243.00 m ²	S造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等は見受けられず、使用について問題はない。ただし、地域の集会的役割となっていることから、地元管理も含め検討する必要がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	分館の建て替えは行わず、類似施設の老朽化や配置の状況を踏まえ整理統合を検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大野公民館		
所在地	中大野町北傍示440-2		
施設分類	市民文化系施設	所管課	生涯学習課 (市民生活課)
延床面積(対象)	866.04 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	社会教育法第20条の目的達成のため設置。住民センター、放課後児童クラブの複合施設。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野公民館	866.04 m ²	S造	R1.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期点検・修繕等を行い、適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	しらさぎ集会所		
所在地	羽ノ浦町春日野1-612		
施設分類	市民文化系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	97.70 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地域住民の集いの場であり、コミュニティ形成を目的として設置		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
しらさぎ集会所	97.70 m ²	RC造	S53	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	市町村合併後は使用していない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討 集約化・複合化を検討
基本的な考え方	地元への移譲等を図る。近隣施設に集約するため、除却を予定している。
計画期間	第1期計画期間

第 4 章 個別施設計画

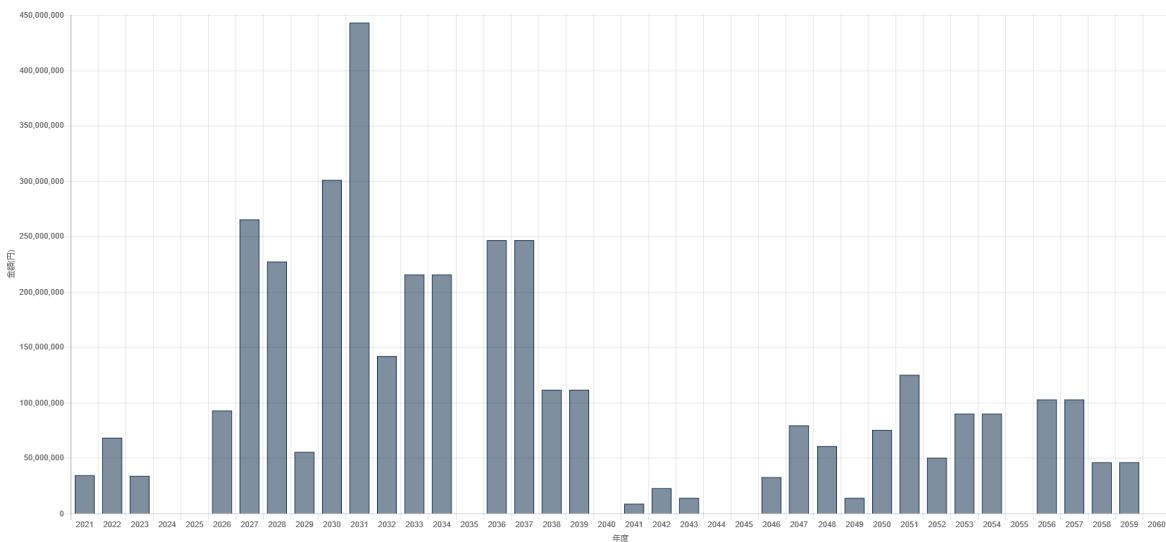
社会教育系施設

社会教育系施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
図書館	図書館	2	3,344.00 m ²
博物館等・その他	民俗資料館	1	349.35 m ²
	科学センター	1	2,754.00 m ²
	ふるさと館	1	730.00 m ²
	牛岐城趾館	1	228.00 m ²
	教育集会所	11	2,715.95 m ²
合計		17	10,121.30 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替費用 37.7億円 / 1年あたり 0.9億円



社会教育系施設

No.	施設名称
1	阿南図書館
2	那賀川図書館
3	阿波公方・民俗資料館
4	科学センター
5	長岡東教育集会所
6	横見教育集会所
7	福井教育集会所
8	寿教育集会所
9	下大野教育集会所
10	本庄教育集会所
11	紺屋総合センター
12	新野教育集会所
13	大京原教育集会所
14	中大野教育集会所
15	郡教育集会所
16	牛岐城趾館
17	ふるさと館

1 施設の基本情報

施設名称	阿南図書館		
所在地	領家町本荘ケ内121		
施設分類	社会教育系施設	所管課	図書館
延床面積(対象)	1,549.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	市民のための図書館		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
阿南図書館	1,549.00 m ²	RC造	S55.12	旧耐震基準・H30耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	耐震強度不足、雨漏り(天井・窓)、外壁ひび割れ
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	当該施設については、耐震性能を欠くため、建物の解体を行う。 阿南中央図書館の整備に伴い、図書館機能の集約化を推進する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川図書館		
所在地	那賀川町苅屋308-1		
施設分類	社会教育系施設	所管課	図書館
延床面積(対象)	1,795.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	市民のための図書館		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川図書館	1,795.00 m ²	RC造	H6.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	天井雨漏り、外壁ひび割れ、照明修繕が必要(安定器交換のため)
基本的な方針	集約・複合化を検討
基本的な考え方	阿南中央図書館の整備に伴い、図書館機能の集約化を推進する。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	阿波公方・民俗資料館		
所在地	那賀川町古津339-1		
施設分類	社会教育系施設	所管課	文化振興課
延床面積(対象)	349.35 ㎡	避難所指定	
設置目的・役割	文化財を保護・保存するとともに芸術文化・地域文化の振興を図る		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
阿波公方・民俗資料館	349.35 ㎡	RC造	S62.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	内外装共に老朽化が見受けられるため修繕の必要がある。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	高齢者等が施設を不自由なく利用できるよう、トイレを洋式化し、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	科学センター		
所在地	那賀川町上福井南川淵8-1		
施設分類	社会教育系施設	所管課	科学センター
延床面積(対象)	2,754.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	子どもたちが理科を楽しく学習することができる施設		
建物外観 (体験館)		建物外観 (天文館)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
科学センター 体験館	2,054.00 m ²	RC造	H9.3	新耐震基準・H30部分改修
科学センター 天文館	700.00 m ²	RC造	H10.11	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	天文館、体験館とも、建物の外壁タイルが一部浮き上がっている。また、天文館は2階の観望デッキに数か所亀裂が見受けられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	阿南市特有の施設であり、地域の小中学生の理科教育に欠かせない施設となっているため、施設の長寿命化を図る。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長岡東教育集会所		
所在地	横見町長岡東15-1		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課
延床面積(対象)	245.04 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教育集会所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長岡東教育集会所	172.24 m ²	S造	S47.3	旧耐震基準
長岡東教育集会所	72.80 m ²	S造	S57.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	横見教育集会所		
所在地	横見町願能地東49-1		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課 (市民生活課)
延床面積(対象)	235.79 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教育集会所及び公会堂の複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
横見教育集会所	175.79 m ²	RC造	S52.3	旧耐震基準
願能地公会堂	60.00 m ²	S造	S62.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	福井教育集会所		
所在地	福井町内歩128-3		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課
延床面積(対象)	401.78 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教育集会所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
福井教育集会所	258.70 m ²	RC造	S53.3	旧耐震基準
福井教育集会所(増築部)	143.08 m ²	RC造	S56.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	寿教育集会所		
所在地	富岡町あ王谷19		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課 (市民生活課)
延床面積(対象)	487.10 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教育集会所及び公会堂の複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
寿教育集会所	308.90 m ²	RC造	S53.3	旧耐震基準
寿公会堂	178.20 m ²	RC造	S53.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	下大野教育集会所		
所在地	下大野町畑田411-1		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課 (生涯学習課)
延床面積(対象)	276.23 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教育集会所及び大野公民館下大野西部分館の複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
下大野教育集会所	276.23 m ²	RC造	S54.1	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	本庄教育集会所		
所在地	長生町舟田66		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課
延床面積(対象)	322.95 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教育集会所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
本庄教育集会所	322.95 m ²	RC造	S56.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	紺屋総合センター		
所在地	桑野町紺屋80-4		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課 (市民生活課)
延床面積(対象)	200.16 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	教育集会所及び公会堂の複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
紺屋総合センター	200.16 m ²	RC造	S57.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	新野教育集会所		
所在地	新野町東馬場59-1		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課
延床面積(対象)	102.90 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	教育集会所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野教育集会所	102.90 m ²	RC造	S57.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	大京原教育集会所		
所在地	那賀川町大京原1079-5		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課
延床面積(対象)	180.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	教育集会所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原教育集会所	180.00 m ²	RC造	S58.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	中大野教育集会所		
所在地	中大野町北傍示616-14		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課
延床面積(対象)	132.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	教育集会所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中大野教育集会所	132.00 m ²	RC造	S62.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	郡教育集会所		
所在地	宝田町出口131-5		
施設分類	社会教育系施設	所管課	人権教育課
延床面積(対象)	132.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	教育集会所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
郡教育集会所	132.00 m ²	RC造	S63.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	大規模修繕が必要となるまで使用し、事業を継続する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	牛岐城趾館		
所在地	富岡町トノ町24-16		
施設分類	社会教育系施設	所管課	文化振興課
延床面積(対象)	228.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	産業・文化に対する市民の理解を深め、地域活性化に繋げる		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
牛岐城趾館	228.00 m ²	RC造	H11.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	安全に利用できるよう施設内外の整備、修繕が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	施設を適切に点検し維持管理する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	ふるさと館		
所在地	橘町土井崎115-16		
施設分類	社会教育系施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	730.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難
設置目的・役割	ふるさとにゆかりのある歴史、芸術、民族等に関する資料を展示し市民のふれあいを深める施設として建設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
ふるさと館	730.00 m ²	RC造	H3.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化による修繕、設備の維持管理、更新に要する費用の増加が考えられる。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	類似施設との集約化を検討する。
計画期間	第4期計画期間

第 4 章 個別施設計画

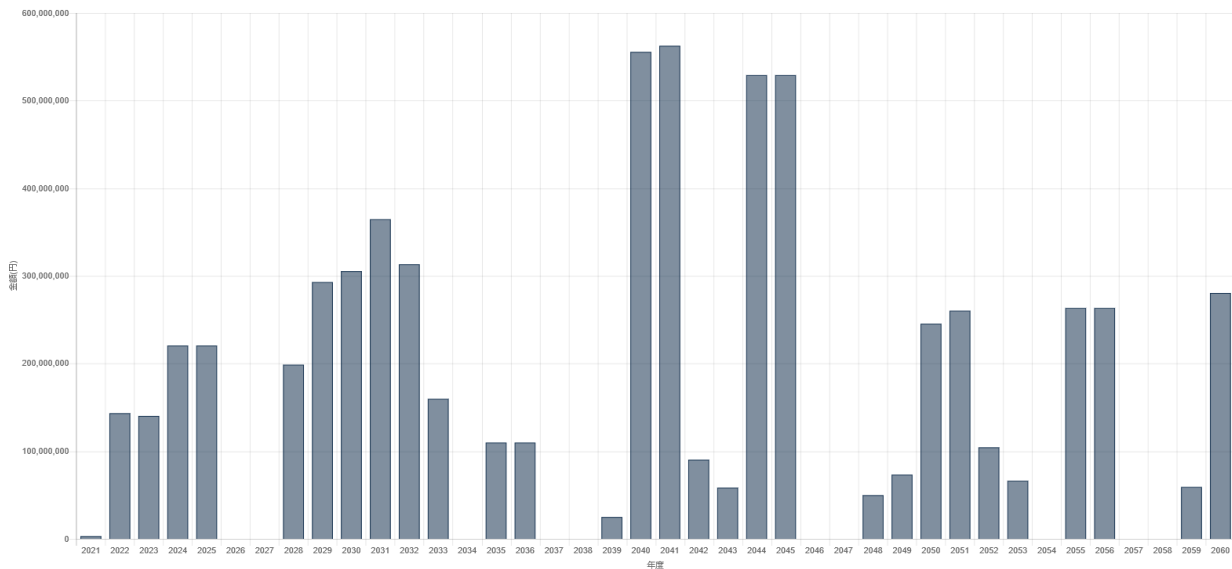
スポーツ・レクリエーション系施設

スポーツ・レクリエーション系施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
スポーツ施設	スポーツ総合センター	1	6,411.00 m ²
	体育館	9	15,869.08 m ²
	艇庫	3	1,197.87 m ²
	武道館	1	1,477.00 m ²
レクリエーション施設	健康スポーツランド	1	75.00 m ²
保養施設	温泉保養施設	1	1,012.00 m ²
合 計		16	26,041.95 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替費用 **66億円** / 1年あたり **1.6億円**



スポーツ・レクリエーション系施設

No.	施設名称
1	スポーツ総合センター
2	春日野体育館
3	羽ノ浦総合国民体育館
4	那賀川B&G海洋センター体育館
5	橘体育館
6	那賀川B&G海洋センター(プール)
7	B&G海洋センター体育館
8	羽ノ浦プール
9	那賀川スポーツセンター
10	屋内多目的施設
11	武道館
12	那賀川B&G海洋センター(艇庫)
13	B&G海洋センター艇庫
14	羽ノ浦健康スポーツランド
15	かもだ岬温泉保養施設
16	阿南市B&G海洋センター複合型施設

1 施設の基本情報

施設名称	スポーツ総合センター		
所在地	七見町下川田100-1		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	6,411.00 ㎡	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	体育施設		
建物外観 (体育館)		建物外観 (室内プール)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
スポーツ総合センター 体育館	4,914.00 ㎡	SRC造	H13.2	新耐震基準
スポーツ総合センター プール	1,497.00 ㎡	SRC造	H16.6	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り対策等の修繕費が増加してきている。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適宜必要な改修等を行い、施設を適切に維持管理する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	春日野体育館		
所在地	羽ノ浦町春日野1-766		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	744.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	体育施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
春日野体育館	744.00 m ²	RC造	S57.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化により修繕費が増加している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	今後も定期的な点検や清掃を行い、修繕については、点検結果を確認の上、対応する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦総合国民体育館		
所在地	羽ノ浦町宮倉沢田100		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	4,043.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	体育施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦総合国民体育館	4,043.00 m ²	RC造	S53.10	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	未耐震施設のため耐震化を図る必要がある。本施設と近隣の羽ノ浦中学校屋内運動場、武道場及びプールを集約した施設を建設する。
基本的な方針	集約化・複合化を検討
基本的な考え方	本施設を集約のための除却工事を令和3年度に行い、羽ノ浦中学校屋内運動場、武道場及びプールを複合化した新体育館を令和4年度末に竣工する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川B&G海洋センター体育館		
所在地	那賀川町今津浦向新田20-5		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	1,627.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	体育施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川B&G海洋センター体育館	1,103.00 m ²	RC造	S53.12	旧耐震基準・R1耐震診断
那賀川B&G海洋センター武道館	524.00 m ²	RC造	S55.2	旧耐震基準・R1耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根改修を含めた耐震改修を実施する。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	耐震改修工事を実施し、施設の継続利用をする。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	橘体育館		
所在地	橘町幸野18		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	1,173.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	体育施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
橘体育館	1,173.00 m ²	RC造	S55.4	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化により修繕費が増加している。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	耐震改修工事を実施し、施設の継続利用をする。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川B&G海洋センター(プール)		
所在地	那賀川町赤池132		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	108.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	体育施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川B&G海洋センター(プール)	108.00 m ²	RC造	S56.4	旧耐震基準・H27大規模改修

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化により修繕費が増加している。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適切な老朽化対策及びメンテナンスを行い、可能な限り施設を長く安全に利用する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	B&G海洋センター体育館		
所在地	津乃峰町長浜387		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	1,096.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	体育施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
B&G海洋センター体育館	1,096.00 m ²	RC造	S57.6	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化により修繕費が増加している。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適切な老朽化対策及びメンテナンスを行い、可能な限り施設を長く安全に利用する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦プール		
所在地	羽ノ浦町宮倉沢田73-3		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	1,239.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	体育施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦プール	1,239.00 m ²	RC造	H1.5	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在閉鎖中であり、本施設と近隣の羽ノ浦中学校屋内運動場、武道場及び羽ノ浦総合国民体育館を集約した施設を建設する。
基本的な方針	集約化・複合化を検討
基本的な考え方	本施設の集約のための除却工事を令和2年度に行い、羽ノ浦中学校屋内運動場、武道場及び羽ノ浦国民体育館を複合化した新体育館を令和4年度末に竣工する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川スポーツセンター		
所在地	那賀川町苅屋354-1		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	3,404.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	学校の体育館としても使用されている体育施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川スポーツセンター	3,404.00 m ²	RC造	H16.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化により修繕費が増加している。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適切な老朽化対策及びメンテナンスを行い、可能な限り施設を長く安全に利用する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	屋内多目的施設		
所在地	桑野町桑野谷34-1		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	2,435.08 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	南部健康運動公園の中に設置された体育施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
屋内多目的施設	2,435.08 m ²	SRC造	H27.6	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	徳島県が陸上競技場を建設中であり、今後の管理・運営について検討する必要がある。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適切な老朽化対策及びメンテナンスを行い、可能な限り施設を長く安全に利用する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	武道館		
所在地	大潟町210-56		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	1,477.00 m ²	避難所指定	指定避難所・緊急避難所
設置目的・役割	体育施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
武道館	1,477.00 m ²	RC造	H5.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化により修繕費が増加している。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適切な老朽化対策及びメンテナンスを行い、可能な限り施設を長く安全に利用する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川B&G海洋センター(艇庫)		
所在地	那賀川町中島1621-1		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	450.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	艇庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川B&G海洋センター(艇庫)	450.00 m ²	S造	S53.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設が古いため、艇庫内の器材等を処分して用地を売却する。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設を除却又は売却に向け検討している。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	B&G海洋センター艇庫		
所在地	大潟町204-1		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	200.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	艇庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
B&G海洋センター艇庫	200.00 m ²	S造	S57.6	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化により修繕費が増加している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	今後も定期的な点検や清掃を行い、修繕については、点検結果を確認の上、対応する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦健康スポーツランド		
所在地	羽ノ浦町宮倉沢田132		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	75.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	レクリエーション施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦健康スポーツランド(管理棟)	75.00 m ²	木造	H3.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化により修繕費が増加している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	今後も定期的な点検や清掃を行い、修繕については、点検結果を確認の上、対応する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	かもだ岬温泉保養施設		
所在地	椿町船瀬60-2		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	1,012.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	保養施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
かもだ岬温泉保養施設	940.00 m ²	木造	H13.3	新耐震基準
かもだ岬温泉保養施設倉庫	72.00 m ²	RC造	H14.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根や外壁など、修繕が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	施設の老朽化が建物内外で進んでおり、補強や温泉機器交換時期も迫っている。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	阿南市B&G海洋センター複合型施設		
所在地	中林町原23-1		
施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	所管課	スポーツ振興課
延床面積(対象)	547.87 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	艇庫及び多目的ホール		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
阿南市B&G海洋センター複合型施設	547.87 m ²	S造	R1.11	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	今後も定期的な点検や清掃を行い、修繕については、点検結果を確認の上、対応する。
計画期間	—

第 4 章 個別施設計画

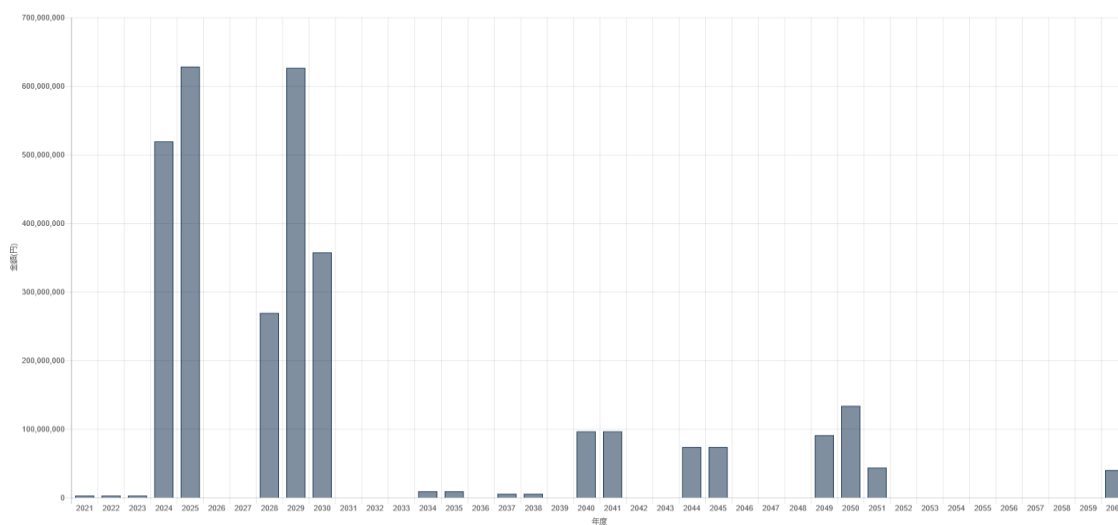
産業系施設

産業系施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
産業系施設	商工業振興センター	1	803.00 m ²
	道の駅	1	216.00 m ²
	中林漁民センター	1	181.44 m ²
	勤労女性センター	1	830.06 m ²
	スマート・ワークオフィス	1	103.63 m ²
	社会福祉会館	2	3,505.94 m ²
	農業施設	2	1,346.73 m ²
	農機具倉庫	25	2,434.18 m ²
合 計		34	9,420.98 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替費用 30.8億円 / 1年あたり 0.8億円



産業系施設

No.	施設名称
1	商工業振興センター
2	道の駅公方の郷なかがわ
3	那賀川社会福祉会館
4	社会福祉会館
5	勤労女性センター
6	中林漁民センター
7	内歩農機具倉庫
8	中大野農機具倉庫
9	長岡南農機具倉庫
10	谷東農機具倉庫
11	下大野農機具倉庫
12	南中島農機具倉庫
13	大京原農機具倉庫
14	大京原第2農機具倉庫
15	黒地農機具倉庫
16	寿農機具倉庫
17	長生西1農機具倉庫
18	長生西2農機具倉庫
19	新野南農機具倉庫
20	新富農機具倉庫
21	内歩北農機具倉庫
22	長岡北農機具倉庫
23	中大野北農機具倉庫
24	横見農機具倉庫
25	下大野東農機具倉庫
26	寿東農機具倉庫
27	中大野東農機具倉庫
28	柳島南農機具倉庫
29	新野西農機具倉庫
30	新野東農機具倉庫
31	柳島北農機具倉庫
32	農業研修センター
33	農村環境改善センター
34	あなんスマート・ワークオフィス

1 施設の基本情報

施設名称	商工業振興センター		
所在地	富岡町今福寺34-4		
施設分類	産業系施設	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	803.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	阿南市内の商工業者の育成及びその資質の向上を図る。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
商工業振興センター	803.00 m ²	SRC造	H13.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	指定管理者と連携し、施設管理・施設利用等の詳細を把握し機能維持に努める。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	平成21年度から指定管理者制度の導入により、効率的・効果的な施設の管理運営を図る。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	道の駅公方の郷なかがわ		
所在地	那賀川町工地803		
施設分類	産業系施設	所管課	観光交流課
延床面積(対象)	216.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	運転者の休息の場所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
道の駅公方の郷なかがわ	216.00 m ²	木造	H12.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等修繕が必要な箇所がある。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	道の駅公方の里なかがわの物産館(主棟)は、建築から24年が経過し、老朽化が顕著となっていることから、躯体の劣化を防止し、長期的に活用するため、令和7年度に、外壁の塗装工事等を実施する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川社会福祉会館		
所在地	那賀川町苅屋357-1		
施設分類	産業系施設	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	2,195.97 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	北部第一お世話センター等に貸館業務を実施している。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川社会福祉会館	2,195.97 m ²	RC造	S50.1	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が著しく、大雨時の雨漏りや施設・設備の修繕費が増加している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣施設の状況等を踏まえ、集約化や複合化の検討を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	社会福祉会館		
所在地	富岡町今福寺40-17		
施設分類	産業系施設	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	1,309.97 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	観光案内所、ファミリーサポートセンター、消費生活センター、ふれあい学級を設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
社会福祉会館	1,309.97 m ²	RC造	H1.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設・設備の老朽化に伴う修繕箇所が多くなってきている。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	設備の更新や改修等を行い、適切に維持管理する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	勤労女性センター		
所在地	羽ノ浦町春日野1-75		
施設分類	産業系施設	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	830.06 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	勤労女性の福祉の増進に資するための施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
勤労女性センター	830.06 m ²	RC造	S54.11	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設及び設備の老朽化により修繕が多くなってきている。
基本的な方針	集約化・複合化を検討
基本的な考え方	災害時における避難者の利便性と安全性の向上を図るため、トイレを洋式化し、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中林漁民センター		
所在地	中林町蛭子浜1		
施設分類	産業系施設	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	181.44 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	観光地引き網や地元漁業関係者の会合等で使用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中林漁民センター	181.44 m ²	RC造	S63.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の維持管理等を地元が行っている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	漁業者等の保養並びに健康推進を図り、あわせて水産事業の発展に寄与するための施設であるため、施設の譲渡等を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	内歩農機具倉庫		
所在地	福井町内歩66-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	67.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
内歩農機具倉庫	67.00 m ²	木造	S38.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。一部破損あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中大野農機具倉庫		
所在地	中大野町南傍示250-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	90.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中大野農機具倉庫	90.00 m ²	S造	S50.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長岡南農機具倉庫		
所在地	横見町長岡東15-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	108.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長岡南農機具倉庫	108.00 m ²	S造	S50.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。一部破損あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	谷東農機具倉庫		
所在地	桑野町宮ノ前30-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	72.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
谷東農機具倉庫	72.00 m ²	S造	S50.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。一部破損あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	下大野農機具倉庫		
所在地	下大野町畑田469-4		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	118.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
下大野農機具倉庫	118.00 m ²	S造	S50.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	南中島農機具倉庫		
所在地	那賀川町中島1721-5		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	120.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
南中島農機具倉庫	120.00 m ²	S造	S51.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原農機具倉庫		
所在地	那賀川町大京原1049-3		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	120.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原農機具倉庫	120.00 m ²	S造	S51.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原第2農機具倉庫		
所在地	那賀川町大京原1025		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	244.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原第2農機具倉庫	128.00 m ²	S造	S51.3	旧耐震基準
大京原第2農機具倉庫	116.00 m ²	S造	S51.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。一部破損あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	黒地農機具倉庫		
所在地	那賀川町黒地703-2		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	57.85 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	



2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
黒地農機具倉庫	57.85 m ²	S造	S51.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	寿農機具倉庫		
所在地	富岡町寿通54-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	83.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
寿農機具倉庫	83.00 m ²	S造	S51.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長生西1農機具倉庫		
所在地	長生町平久保61-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	53.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長生西1農機具倉庫	53.00 m ²	S造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長生西2農機具倉庫		
所在地	長生町平久保61-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	102.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長生西2農機具倉庫	102.00 m ²	S造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	新野南農機具倉庫		
所在地	新野町東馬場53-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	101.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野南農機具倉庫	101.00 m ²	S造	S53.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	新富農機具倉庫		
所在地	新野町新富25-2		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	100.02 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新富農機具倉庫	100.02 m ²	S造	S53.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。一部破損あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	内歩北農機具倉庫		
所在地	福井町内歩81、外		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	95.62 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
内歩北農機具倉庫	95.62 m ²	S造	S54.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。一部破損あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長岡北農機具倉庫		
所在地	横見町豊田68		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	108.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長岡北農機具倉庫	108.00 m ²	S造	S54.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中大野北農機具倉庫		
所在地	中大野町大坪57-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	60.77 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中大野北農機具倉庫	60.77 m ²	S造	S55.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	横見農機具倉庫		
所在地	横見町願能地東82-8		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	101.92 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
横見農機具倉庫	101.92 m ²	S造	S56.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。一部破損あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	下大野東農機具倉庫		
所在地	下大野町小野2-1、外		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	76.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
下大野東農機具倉庫	76.00 m ²	S造	H2.1	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	寿東農機具倉庫		
所在地	富岡町西池田12-2		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	52.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
寿東農機具倉庫	52.00 m ²	S造	H2.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中大野東農機具倉庫		
所在地	中大野町南傍示67		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	70.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中大野東農機具倉庫	70.00 m ²	S造	H2.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	柳島南農機具倉庫		
所在地	柳島町外萩62-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	72.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
柳島南農機具倉庫	72.00 m ²	S造	H6.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	新野西農機具倉庫		
所在地	新野町馬見70		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	160.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野西農機具倉庫	160.00 m ²	S造	H10.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。全体的に錆、腐食あり。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	新野東農機具倉庫		
所在地	新野町東馬場74-5		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	102.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野東農機具倉庫	102.00 m ²	S造	H11.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	柳島北農機具倉庫		
所在地	柳島町六反地99		
施設分類	産業系施設	所管課	農林水産課
延床面積(対象)	100.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農機具倉庫		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
柳島北農機具倉庫	100.00 m ²	S造	H12.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	地元協議会等が管理、使用。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	使用している地元協議会、団体へ譲渡、払下げを検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	農業研修センター		
所在地	羽ノ浦町宮倉原ノ内49		
施設分類	産業系施設	所管課	農地整備課
延床面積(対象)	239.73 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農業に関する各種研修を実施するため		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
農業研修センター	239.73 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	降雨後に階段踊り場部に水の侵入が確認できる。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	放課後児童クラブの会場や地元協議会の利用となっており、移譲又は除去を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	農村環境改善センター		
所在地	羽ノ浦町中庄上ナカレ18-1		
施設分類	産業系施設	所管課	農地整備課
延床面積(対象)	1,107.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	農村の環境整備を推進するため		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
農村環境改善センター	1,107.00 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	入口天井部のコンクリート剥落が確認されている。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	一部を那賀川北岸土地改良区に貸し付けているが、改良区移転の話も出ており、建物自体の損傷も見られることから耐用年数満了以後は除去を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	あなんスマート・ワークオフィス		
所在地	那賀川町上福井南川淵14-1		
施設分類	産業系施設	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	103.63 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	サテライトオフィスの誘致		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
あなんスマート・ワークオフィス	103.63 m ²	木造	H30.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	不具合等は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	適切な維持管理を行いつつ、現状維持する。
計画期間	—

第 4 章 個別施設計画

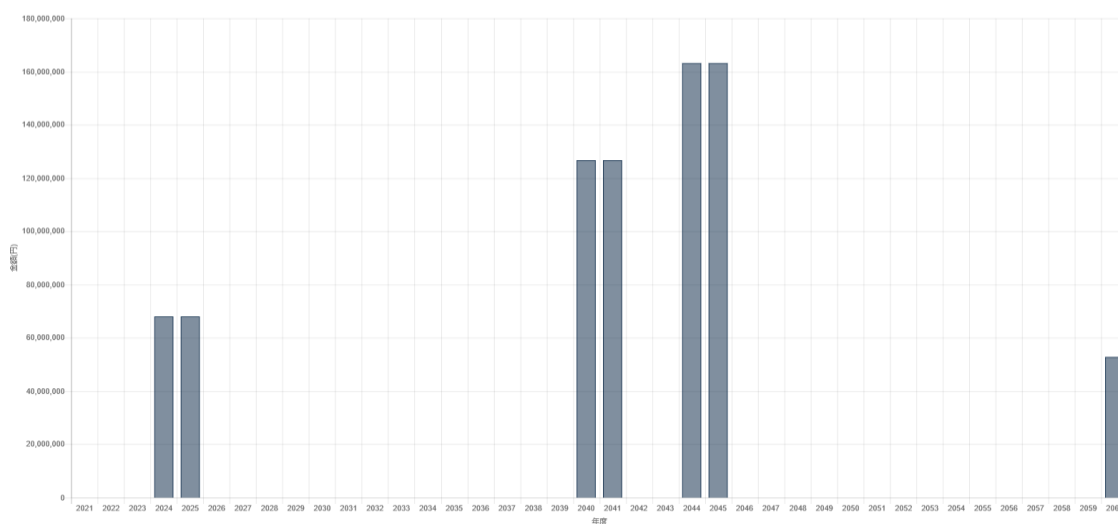
学校教育系施設

学校教育系施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
その他教育施設	給食センター	4	6,317.39 m ²
合計		4	6,317.39 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替 7.7億円 / 1年あたり 0.2億円



学校教育系施設

No.	施設名称
1	第一学校給食センター
2	南部学校給食センター
3	那賀川学校給食センター
4	阿南中央学校給食センター

1 施設の基本情報

施設名称	阿南第一学校給食センター		
所在地	長生町西方589		
施設分類	学校教育系施設	所管課	学校給食課
延床面積(対象)	1,280.91 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	給食センター		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
阿南第一学校給食センター	1,280.91 m ²	S造	H12.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が著しく、厨房機器等の更新が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	修繕等を計画的に維持管理を行い、継続利用する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	南部学校給食センター		
所在地	大瀨町214-23		
施設分類	学校教育系施設	所管課	学校給食課
延床面積(対象)	1,647.39 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	給食センター		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
南部学校給食センター	1,647.39 m ²	S造	H16.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が著しく、厨房機器等の更新が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	修繕等を計画的に維持管理を行い、継続利用する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川学校給食センター		
所在地	那賀川町苅屋370-16		
施設分類	学校教育系施設	所管課	学校給食課
延床面積(対象)	499.77 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	給食センター		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川学校給食センター	499.77 m ²	S造	H9.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設の機能を移転したため、除却を予定している。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	阿南中央学校給食センター		
所在地	見能林町南勘高2		
施設分類	学校教育系施設	所管課	学校給食課
延床面積(対象)	2,889.32 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	給食センター		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
阿南中央学校給食センター	2,889.32 m ²	S造	H31.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	特に必要な修繕箇所等はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設、機器類の適切な維持管理、点検を行う。
計画期間	—

第 4 章 個別施設計画

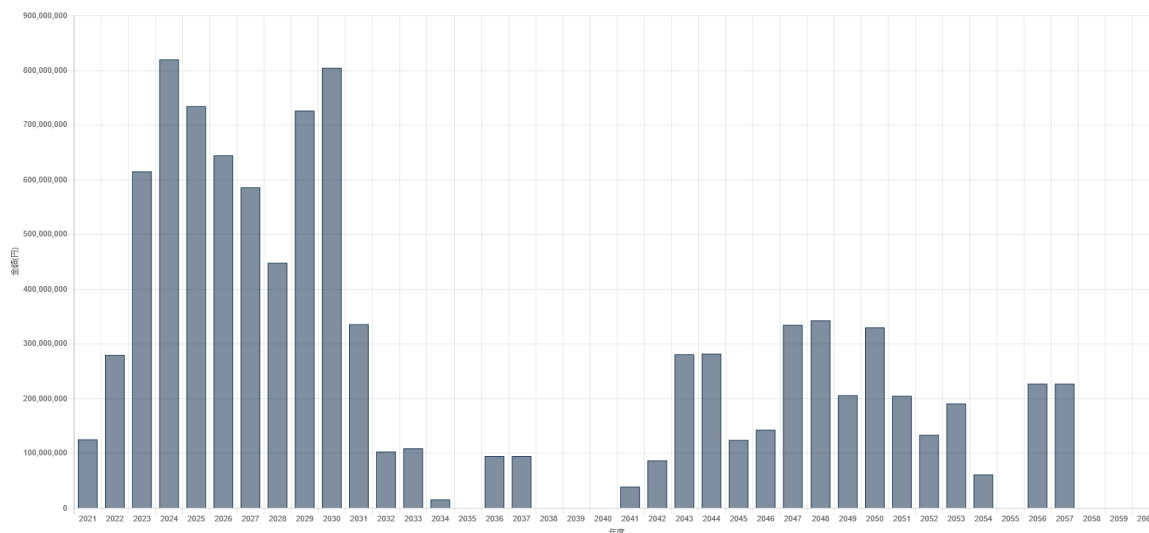
子育て支援施設

子育て支援施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
幼保・こども園	幼稚園	8	3,703.00 m ²
	保育所	23	14,163.00 m ²
	認定こども園	6	9,127.75 m ²
幼児・児童施設	子育て支援施設	1	424.00 m ²
	児童館	11	2,557.43 m ²
合計		49	29,975.18 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替え 97.4億円 / 1年あたり 2.4億円



子育て支援施設

No.	施設名称
1	富岡幼稚園
2	横見幼稚園
3	大野幼稚園
4	加茂谷幼稚園
5	大井幼稚園
6	見能林幼稚園
7	新野東幼稚園
8	新野西幼稚園
9	富岡保育所
10	寿保育所
11	宝田こどもセンター
12	本庄保育所
13	長生保育所
14	大野保育所
15	明星保育所
16	中野島保育所
17	横見保育所
18	見能方保育所
19	中林保育所
20	津乃峰保育所
21	桑野保育所
22	山口保育所
23	新野こどもセンター
24	福井保育所
25	小野保育所
26	椿保育所
27	椿泊保育所
28	伊島保育所
29	羽ノ浦くるみ保育所
30	羽ノ浦さくら保育所
31	橘保育所
32	羽ノ浦こぼと保育所
33	羽ノ浦すみれ保育所
34	羽ノ浦親子ふれあいセンター
35	今津こどもセンター
36	平島こどもセンター
37	岩脇こどもセンター
38	橘こどもセンター
39	那賀川子育て家庭支援センター
40	中野島児童館
41	黒地児童館
42	羽ノ浦南児童館
43	羽ノ浦さくら児童館
44	羽ノ浦西児童館
45	富岡地区子育て支援施設
46	宝田子育て支援施設
47	見能林地区子育て支援施設
48	長生子ども会館
49	平島地区子育て支援施設

1 施設の基本情報

施設名称	富岡幼稚園		
所在地	領家町浜田182-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	1,282.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	幼稚園		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
富岡幼稚園	443.00 m ²	RC造	S53.3	旧耐震基準・H21改修
富岡幼稚園(職員室側)	839.00	RC造	S48.12	旧耐震基準・H21改修

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでおり、修繕や改修が必要である。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	富岡保育所との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	横見幼稚園		
所在地	横見町上木戸49-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	503.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	幼稚園		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
横見幼稚園	503.00 m ²	RC造	S54.2	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでおり、修繕や改修が必要である。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	横見保育所との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大野幼稚園		
所在地	下大野町三条15-5		
施設分類	子育て支援施設	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	381.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	幼稚園		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野幼稚園	381.00 m ²	RC造	S50.5	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでおり、修繕や改修が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	施設の老朽化に対応するため防水等改修工事を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	加茂谷幼稚園		
所在地	吉井町原33		
施設分類	子育て支援施設	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	412.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	幼稚園		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
加茂谷幼稚園	412.00 m ²	RC造	S55.3	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでおり、修繕や改修が必要である。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	大野保育所との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大井幼稚園		
所在地	大井町東平125-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	161.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	幼稚園		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大井幼稚園	161.00 m ²	木造	S33.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでおり、現在休園中である。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設の利用予定もなく、処分等を検討する必要がある。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	見能林幼稚園		
所在地	見能林町東野10-2		
施設分類	子育て支援施設	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	692.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	幼稚園		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
見能林幼稚園	521.00 m ²	RC造	H2.2	新耐震基準
見能林幼稚園(リズム室)	171.00 m ²	木造	H12.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでおり、修繕や改修が必要である。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	見能方保育所との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	新野東幼稚園		
所在地	新野町名光120-2		
施設分類	子育て支援施設	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	203.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	幼稚園		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野東幼稚園	203.00 m ²	木造	H9.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在休園中の施設であり、放課後児童クラブが使用している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的な点検・修繕を行い適切に維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	新野西幼稚園		
所在地	新野町友常1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	69.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	幼稚園		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野西幼稚園	69.00 m ²	木造	S29.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでおり、現在休園中である。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設の利用予定もなく、処分等を検討する必要がある。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	富岡保育所		
所在地	富岡町トノ町96-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	1,379.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
富岡保育所	934.00 m ²	RC造	S45.3	旧耐震基準・H19耐震診断
阿南琴江寮	445.00 m ²	RC造	H5.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に大きな亀裂があるなど、維持継続のためには修繕等の対策が必要である。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	富岡幼稚園との統合による認定こども園化の検討を行う。阿南琴江寮については、現在休養中であるため、用途変更等を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	寿保育所		
所在地	富岡町寿通108		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	389.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
寿保育所	389.00 m ²	RC造	S49.7	旧耐震基準・H29耐震改修

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に大きな亀裂があるなど、維持継続のためには修繕等の対策が必要である。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	富岡幼稚園との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	宝田こどもセンター		
所在地	宝田町久保田97-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	1,038.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	認定こども園		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
宝田こどもセンター	190.00 m ²	RC造	H2.2	新耐震基準
宝田こどもセンター	848.00 m ²	RC造	S56.1	旧耐震基準・H21耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に大きな亀裂があるなど、維持継続のためには修繕等の対策が必要である。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	令和2年4月1日宝田幼稚園と統合し、保育所型認定こども園として事業を実施しているため。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	本庄保育所		
所在地	長生町平久保60		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	334.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
本庄保育所	334.00 m ²	RC造	S49.6	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外部手すり等に錆があるなど、維持継続のためには修繕等の対策が必要である。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	長生保育所と統合し、認定こども園化を協議中
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長生保育所		
所在地	長生町五反地18		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	708.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長生保育所	708.00 m ²	RC造	S54.11	旧耐震基準・H21耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	室内天井ボードに亀裂があり、雨漏りを確認している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	本庄保育所と統合し、認定こども園化を協議中
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大野保育所		
所在地	下大野町小野74-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	474.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野保育所	474.00 m ²	RC造	S57.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	職員用トイレの床下に漏水あり。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	大野幼稚園、加茂谷幼稚園との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	明星保育所		
所在地	上中町中原353-2		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	541.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
明星保育所	541.00 m ²	RC造	S51.6	旧耐震基準・H21耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	老朽による一部雨漏り発生、外壁に大きな亀裂があるなど維持継続のためには修繕等の対策が必要。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	中野島保育所との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中野島保育所		
所在地	柳島町八剣74		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	550.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中野島保育所	550.00 m ²	RC造	S55.2	旧耐震基準・H21耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	窓・ドアに錆・腐食等があり、漏水している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	明星保育所との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	横見保育所		
所在地	横見町長岡東50-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	481.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
横見保育所	481.00 m ²	RC造	S48.6	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	老朽による一部雨漏りあり。保育室サッシ部分に垂れ下がりがあり、維持継続のためには修繕等の対策が必要。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	横見幼稚園との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	見能方保育所		
所在地	見能林町東野12-2		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	322.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
見能方保育所	322.00 m ²	RC造	S63.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根に変色・汚れがあり、天井等に雨漏り跡がある。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	見能林幼稚園との統合による認定こども園化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中林保育所		
所在地	中林町原23		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	320.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中林保育所	320.00 m ²	RC造	S46.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	平成13年度から休所しているため老朽化が著しい。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	取り壊しを検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	津乃峰保育所		
所在地	津乃峰町長浜387		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	661.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
津乃峰保育所	288.00 m ²	RC造	S63.12	新耐震基準
津乃峰保育所	140.00 m ²	RC造	S63.12	新耐震基準
津乃峰保育所	233.00 m ²	RC造	S63.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁の塗装に剥がれあり。保育室の床板材が膨張している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	適切に維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	桑野保育所		
所在地	桑野町中野202		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	717.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
桑野保育所	717.00 m ²	RC造	S55.4	旧耐震基準・H21耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	維持継続のためには修繕等の対策が必要。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	適切に維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	山口保育所		
所在地	山口町末広12-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	371.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
山口保育所	371.00 m ²	RC造	H2.1	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	維持継続のためには修繕等の対策が必要。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	適切に維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	新野こどもセンター		
所在地	新野町片山54		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	980.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	認定こども園		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野こどもセンター	650.00 m ²	木造	H13.2	新耐震基準
新野こどもセンター	330.00 m ²	木造	H16.1	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	維持継続のためには修繕等の対策が必要。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	平成31年4月1日新野幼稚園と統合し、保育所型認定こども園として事業を実施しているため。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	福井保育所		
所在地	福井町高田117-3		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	684.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
福井保育所	684.00 m ²	RC造	H3.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	窓・ドアに錆・腐食・変形がある。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	適切に維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	小野保育所		
所在地	福井町日ノ地122-3		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	100.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
小野保育所	100.00 m ²	RC造	H4.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	平成8年度から休所している。隣接する小学校と一体的に地元が管理している。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	現在利用している地元との協議を行う。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	椿保育所		
所在地	椿町高岸64-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	374.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
椿保育所	374.00 m ²	RC造	S53.4	旧耐震基準・H21耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	壁に亀裂があり、廊下に腐食している部分がある。保育室倉庫の天井に腐食あり。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	適切に維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	椿泊保育所		
所在地	椿町大深原6		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	399.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
椿泊保育所	399.00 m ²	RC造	S47.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	平成21年度から休所している。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	取り壊しを検討する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	伊島保育所		
所在地	伊島町伊吹31		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	125.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
伊島保育所	125.00 m ²	RC造	S61.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁のコンクリート系パネルの脱落あり、塗装の剥がれや鉄筋が見えているところがある。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	適切に維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦くるみ保育所		
所在地	羽ノ浦町中庄ナカレ24-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	1,017.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦くるみ保育所	1,017.00 m ²	RC造	S51.3	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に塗装の剥がれあり。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	羽ノ浦地区において公立と私立両面からの施設整備を協議中。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦さくら保育所		
所在地	羽ノ浦町春日野1-85		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	1,780.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦さくら保育所	832.00 m ²	RC造	S46.3	旧耐震基準・H19耐震診断
羽ノ浦さくら保育所	218.00 m ²	RC造	S48.3	旧耐震基準・H19耐震診断
羽ノ浦さくら保育所	154.00 m ²	RC造	S49.3	旧耐震基準・H19耐震診断
羽ノ浦さくら保育所	396.00 m ²	RC造	S50.3	旧耐震基準・H19耐震診断
羽ノ浦さくら保育所	180.00 m ²	RC造	S51.3	旧耐震基準・H19耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	保育室の天井ボード腐食など、老朽が顕著で複数個所で雨漏りが発生している。外壁に塗装の剥がれあり。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	羽ノ浦地区において公立と私立両面からの施設整備を協議中。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	橘保育所(旧)		
所在地	橘町豊浜36-3		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	1,054.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
橘保育所(旧)	1,054.00 m ²	RC造	S49.9	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	幼保連携型認定こども園への移行により廃止。現在、橘児童クラブが使用。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	現在利用している橘児童クラブが移転した後、取り壊しを検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦こぼと保育所(旧)		
所在地	羽ノ浦町明見295-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	423.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦こぼと保育所(旧)	423.00 m ²	RC造	S49.3	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	保育室の天井ボードに雨漏り跡あり。防水シートの腐食あり。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	単独設置の子育て支援施設として事業の実施を継続する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦すみれ保育所(旧)		
所在地	羽ノ浦町岩脇姥ヶ原81-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	960.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	保育所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦すみれ保育所(旧)	960.00 m ²	RC造	S51.10	旧耐震基準・H20耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	保育所型認定こども園への移転統合により廃止。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	現在使用している「ひまわり教室」の移転後、取り壊しを検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦親子ふれあいセンター		
所在地	羽ノ浦町春日野1-88		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	260.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	放課後児童クラブ専用施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦親子ふれあいセンター	260.40 m ²	RC造	S51.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏りが見受けられる。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣の類似施設の配置状況等を踏まえ、集約化等の検討を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	今津こどもセンター		
所在地	那賀川町今津浦喜来65-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	1,655.24 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	認定こども園		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
今津こどもセンター	1,655.24 m ²	S造	H16.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	一部雨漏りが発生、維持継続ためには修繕等の対策が必要。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	平成16年4月に近隣保育所、幼稚園を統合し、認定こども園として事業を実施している。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	平島こどもセンター		
所在地	那賀川町苅屋370-5		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	2,468.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	認定こども園		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
平島こどもセンター	1,376.00 m ²	S造	H19.5	新耐震基準
平島こどもセンター	1,092.00	S造	H20.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	天井に雨漏り跡あり。維持継続ためには修繕等の対策が必要
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	平成20年4月に近隣保育所、幼稚園を統合し、認定こども園として事業を実施している。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	岩脇こどもセンター		
所在地	羽ノ浦町岩脇神代地85-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	1,806.51 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	認定こども園		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
岩脇こどもセンター	1,806.51 m ²	S造	H29.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	適切な維持管理を行う。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	平成29年4月に羽ノ浦すみれ保育所と羽ノ浦こぼと保育所を統合し、認定こども園として事業を実施している。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	橘こどもセンター		
所在地	橘町久保38-3		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	1,180.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難
設置目的・役割	認定こども園		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
橘こどもセンター	1,180.00 m ²	S造	H25.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	天井に雨漏り跡あり。維持継続ためには修繕等の対策が必要。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	平成25年4月に橘幼稚園と統合し、現在、幼保連携型認定こども園として事業を実施している。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川子育て家庭支援センター		
所在地	那賀川町島尻753-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	こども課
延床面積(対象)	424.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	子育て家庭支援センター		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川子育て家庭支援センター	424.00 m ²	S造	S51.5	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	羽ノ浦こぼと保育所(旧)への移転により廃止。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	令和2年4月、移転が完了したため取り壊しを行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	中野島児童館		
所在地	宝田町平岡899-2		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	485.27 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	子ども達に健全な遊びを提供する児童厚生施設と放課後児童クラブ専用施設の複合施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
中野島児童館	485.27 m ²	S造	H28.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	建築後間もない施設のため、今は問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	適切な維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	黒地児童館		
所在地	那賀川町黒地658-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課 (人権教育課)
延床面積(対象)	359.44 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	子どもたちに健全な遊びを提供する児童厚生施設と教育集会所との複合施設。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
黒地児童館	202.00 m ²	S造	S54.4	旧耐震基準
黒地教育集会所	157.44 m ²	RC造	H6.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁のひび割れや雨漏り跡が見受けられる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的に点検、修繕を行い適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦南児童館		
所在地	羽ノ浦町古庄中相3-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	257.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	子どもたちに健全な遊びを提供する児童厚生施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦南児童館	257.56 m ²	RC造	S52.3	旧耐震基準・R1耐震改修

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	令和元年度改修済。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的に点検・修繕を行い、適切に維持管理する。
計画期間	第4期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦さくら児童館		
所在地	羽ノ浦町春日野1-110		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	263.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	子どもたちに健全な遊びを提供する児童厚生施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦さくら児童館	263.00 m ²	RC造	S53.4	旧耐震基準・R2耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が進んでいる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的に点検・修繕を行い、適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦西児童館		
所在地	羽ノ浦町岩脇宮ノ下112		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	214.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	子どもたちに健全な遊びを提供する児童厚生施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦西児童館	214.00 m ²	RC造	S55.2	旧耐震基準・H22耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	平成25年度改修済。今は問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的に点検・修繕を行い、適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	富岡地区子育て支援施設		
所在地	領家町浜田200		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	133.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	放課後児童クラブ専用施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
富岡地区子育て支援施設	133.00 m ²	S造	H15.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的に点検・修繕を行い、適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	宝田子育て支援施設		
所在地	宝田町東ノ一72-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	118.76 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	放課後児童クラブ専用施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
宝田子育て支援施設	118.76 m ²	S造	S51.11	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化により、今後の維持管理が課題である。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣の類似施設の配置状況等を踏まえ、集約化の検討を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	見能林地区子育て支援施設		
所在地	見能林町西内35		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	142.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	放課後児童クラブ専用施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
見能林地区子育て支援施設	142.00 m ²	S造	H18.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的に点検・修繕を行い、適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	長生子ども会館		
所在地	長生町舟田55		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	155.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	放課後児童クラブ専用施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長生子ども会館	155.00 m ²	S造	H13.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的に点検・修繕を行い、適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	平島地区子育て支援施設		
所在地	那賀川町中島414-1		
施設分類	子育て支援施設	所管課	生涯学習課
延床面積(対象)	169.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	放課後児童クラブ専用施設		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
平島地区子育て支援施設	169.00 m ²	木造	H7.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	問題はない。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	近隣の類似施設の配置状況等を踏まえ、集約化の検討を行う。
計画期間	第2期計画期間

第 4 章 個別施設計画

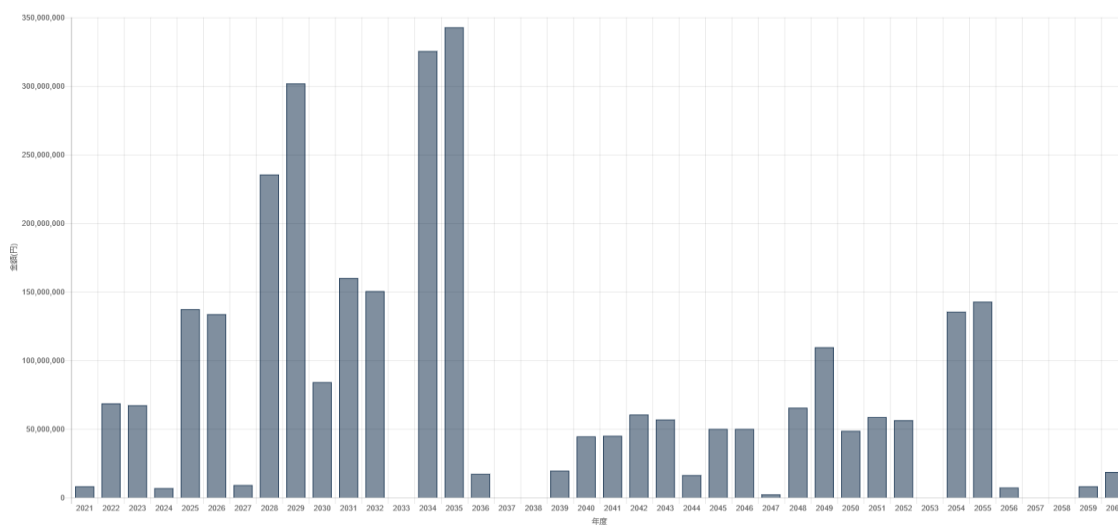
保健・福祉施設

保健・福祉施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
高齢福祉施設	老人ルーム	9	1,911.73 m ²
	老人いこいの家	10	2,365.85 m ²
	高齢者交流センター	1	363.00 m ²
	デイサービスセンター	2	717.00 m ²
	ふれあいセンター	2	298.00 m ²
保健施設	ひまわり会館	1	3,014.03 m ²
	健康交流センター	1	230.69 m ²
	健康づくりセンター	1	1,264.89 m ²
合計		27	10,165.19 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替え 30.4億円 / 1年あたり 0.8億円



保健・福祉施設

No.	施設名称
1	谷老人ルーム
2	柳島老人ルーム
3	長岡東老人ルーム
4	伊月総合会館
5	新野市民センター
6	内歩老人ルーム
7	横見老人ルーム
8	住吉老人ルーム
9	本庄老人ルーム
10	伊島老人いこいの家
11	見能林老人いこいの家
12	富岡老人いこいの家
13	福井老人憩いの家
14	宝田老人いこいの家
15	羽ノ浦老人福祉センター
16	椿泊老人いこいの家
17	那賀川老人いこいの家
18	大野老人いこいの家
19	新野老人いこいの家
20	高齢者交流センター
21	デイサービスセンター 栖竜荘
22	デイサービスセンター 秋桜荘
23	ふれあいセンター
24	健康交流センター
25	阿南ひまわり会館
26	伊島町 高齢者ふれあいセンター
27	阿南健康づくりセンター

1 施設の基本情報

施設名称	谷老人ルーム		
所在地	桑野町紺屋80-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	132.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	本市に居住する老人の憩いと健康増進に寄与するため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
谷老人ルーム	132.00 m ²	RC造	S47.6	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	柳島老人ルーム		
所在地	柳島町外萩13-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	137.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	本市に居住する老人の憩いと健康増進に寄与するため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
柳島老人ルーム	137.00 m ²	RC造	S47.6	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	長岡東老人ルーム		
所在地	横見町長岡東37-3		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	152.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	本市に居住する老人の憩いと健康増進に寄与するため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長岡東老人ルーム	152.00 m ²	RC造	S50.6	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	伊月総合会館		
所在地	柳島町六反地104-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課 (市民生活課)
延床面積(対象)	208.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	本市に居住する老人の憩いと健康増進に寄与するため設置。老人ルーム及び公会堂との複合施設。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
伊月総合会館	208.00 m ²	RC造	S53.4	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	使用上の問題は見られないが、天井及びサッシからの雨漏り(H26修繕済)や、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	新野市民センター		
所在地	新野町東馬場55-2		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課 (人権男女参画課)
延床面積(対象)	702.73 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	本市に居住する老人の憩いと健康増進に寄与するため設置。老人ルーム及び隣保館との複合施設。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野市民センター	702.73 m ²	RC造	S53.6	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	内歩老人ルーム		
所在地	福井町内歩86-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	151.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	本市に居住する老人の憩いと健康増進に寄与するため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
内歩老人ルーム	151.00 m ²	RC造	S54.6	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	横見老人ルーム		
所在地	横見町願能地東52-2		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	149.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	本市に居住する老人の憩いと健康増進に寄与するため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
横見老人ルーム	149.00 m ²	RC造	S57.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	住吉老人ルーム		
所在地	住吉町問屋前281-4		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	120.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	本市に居住する老人の憩いと健康増進に寄与するため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
住吉老人ルーム	120.00 m ²	RC造	S61.1	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	本庄老人ルーム		
所在地	長生町舟田66		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	160.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	本市に居住する老人の憩いと健康増進に寄与するため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
本庄老人ルーム	160.00 m ²	RC造	H7.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	伊島老人いこいの家		
所在地	伊島町瀬戸114-2		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	60.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
伊島老人いこいの家	60.00 m ²	木造	S51.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、屋根・外壁に老朽化が見られる。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	本施設又は近隣施設の改修・更新時期に合わせて、他施設との複合化又は統合を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	見能林老人いこいの家		
所在地	見能林町東浦51-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	74.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
見能林老人いこいの家	74.00 m ²	RC造	S53.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	使用上の問題は見られないが、天井からの雨漏り(H25修繕済)や、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	本施設又は近隣施設の改修・更新時期に合わせて、他施設との複合化又は統合を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	富岡老人いこいの家		
所在地	富岡町滝ノ下30-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	200.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
富岡老人いこいの家	200.00 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、床の沈み(H26修繕済)や、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	本施設又は近隣施設の改修・更新時期に合わせて、他施設との複合化又は統合を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	福井老人憩いの家		
所在地	福井町貝谷26-3		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	74.85 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
福井老人憩いの家	74.85 m ²	RC造	S55.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	以前は市が管理していたが、現在は光熱費の支払い等をしておらず、地元が管理している。建物は外壁に亀裂があるなど老朽化が激しい。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	本施設又は近隣施設の改修・更新時期に合わせて、他施設との複合化又は統合を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	宝田老人いこいの家		
所在地	宝田町市場68-4		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	76.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
宝田老人いこいの家	76.00 m ²	RC造	S56.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	本施設又は近隣施設の改修・更新時期に合わせて、他施設との複合化又は統合を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦老人福祉センター		
所在地	羽ノ浦町中庄高田原56-2		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課 (市民生活課)
延床面積(対象)	525.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため設置。老人いきいきの家及び集会所との複合施設。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦老人福祉センター	525.00 m ²	RC造	S56.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用する
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	椿泊老人いこいの家		
所在地	椿泊町出島9-2		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	110.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
椿泊老人いこいの家	110.00 m ²	RC造	S57.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	使用上の問題は見られないが、天井からの雨漏り(H26修繕済)や、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	集約化、複合化を検討
基本的な考え方	本施設又は近隣施設の改修・更新時期に合わせて、他施設との複合化又は統合を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川老人いこいの家		
所在地	那賀川町苅屋325-2		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	797.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川老人いこいの家	505.00 m ²	RC造	S61.3	新耐震基準
那賀川老人いこいの家	292.00 m ²	RC造	S61.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、雨樋の破損(R1修繕済)や、外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が著しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。本施設の一部を青少年健全育成センターへ所管替えしている。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	大野老人いこいの家		
所在地	下大野町三条12-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	184.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野老人いこいの家	184.00 m ²	S造	H13.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁の損傷によりシーリング打ち替え工事を施工している(H29)。現在、建物の内外ともに目立った損傷は見られない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し、適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	新野老人いこいの家		
所在地	新野町馬場92-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	265.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
新野老人いこいの家	265.00 m ²	S造	H14.11	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在、建物の内外ともに目立った損傷は見られない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	高齢者交流センター		
所在地	福井町森2-3		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	363.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	高齢者が生きがいを感じ、支えあい集える施設として設置		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
高齢者交流センター	212.00 m ²	S造	H24.3	新耐震基準
高齢者交流センター倉庫	151.00 m ²	S造	H15.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	交流センター(本体)については目立った損傷は見られないが、地元が管理している倉庫については、台風により外壁に損傷を受けている(修繕済)。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	デイサービスセンター栖竜荘		
所在地	那賀川町苅屋357-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	357.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	要介護者等に日帰りの介護サービスを行い、心身機能の維持や家族の負担の軽減を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
デイサービスセンター栖竜荘	357.00 m ²	RC造	H1.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	デイサービス事業運営のため阿南市社会福祉協議会へ使用貸借している。台風により外壁(杉板)に損傷を受けている(H26,H30修繕済)。外壁の部分張替を繰り返しているほか、雨漏りや床の沈みがあるなど施設の老朽化が激しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。当施設の形態等を変更する場合は、使用貸借の相手方である阿南市社会福祉協議会との協議が必要である。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	デイサービスセンター秋桜荘		
所在地	羽ノ浦町岩脇中地112-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	360.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	要介護者等に日帰りの介護サービスを行い、心身機能の維持や家族の負担の軽減を図るため		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
デイサービスセンター秋桜荘	360.00 m ²	S造	H2.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	デイサービス事業運営のため阿南市社会福祉協議会へ使用貸借しているが、平成31年3月31日以降休止している。外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が激しい。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的に点検し適切に維持管理する。当施設の形態等を変更する場合は、使用貸借の相手方である阿南市社会福祉協議会との協議が必要である。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	ふれあいセンター		
所在地	那賀川町苅屋357-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課
延床面積(対象)	180.00 m ²	避難所指定	指定避難所
設置目的・役割	要介護者等に日帰りの介護サービスを行い、心身機能の維持や家族の負担の軽減を図るため		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
ふれあいセンター	180.00 m ²	S造	H12.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	デイサービス事業運営のため阿南市社会福祉協議会へ使用貸借している。雨漏り等の使用上の問題は見られないが、屋根・外壁に老朽化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設を定期的に点検し適切に維持管理する。当施設の形態等を変更する場合は、使用貸借の相手方である阿南市社会福祉協議会との協議が必要である。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	健康交流センター		
所在地	柳島町外萩13-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	保健センター
延床面積(対象)	230.69 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	市民の社会生活の向上		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
健康交流センター	230.69 m ²	S造	H12.4	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	設備が老朽化し、修繕等が必要となっている。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的な点検や修繕を行い適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	阿南ひまわり会館		
所在地	富岡町北通33-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	保健センター
延床面積(対象)	3,014.03 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難所
設置目的・役割	高齢者の生きがいづくり及び女性の社会参加の拠点		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
阿南ひまわり会館	3,014.03 m ²	RC造	H6.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	令和元年度より指定管理者制度を導入済である。定期的な点検や修繕を行い適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	伊島町高齢者ふれあいセンター		
所在地	伊島町瀬戸39、40		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	介護・ながいき課 (保険年金課)
延床面積(対象)	118.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための健全な憩いの場を確保し、もって老人の心身の健康の増進を図るため。高齢者ふれあいセンター及び伊島診療所との複合施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
伊島町高齢者ふれあいセンター	118.00 m ²	木造	H11.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り等の使用上の問題は見られないが、台風により屋根及び外壁に被害を受けており(H28,H30修繕済)、屋根・外壁には老朽化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的な点検や修繕を行い適切に維持管理する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	阿南健康づくりセンター		
所在地	宝田町荒井6-1		
施設分類	保健・福祉施設	所管課	保健センター
延床面積(対象)	1,264.89 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	市民の健康づくり		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
阿南健康づくりセンター	1,264.89 m ²	S造	H30.5	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	定期的な点検や修繕を行い適切に維持管理する。
計画期間	—

第 4 章 個別施設計画

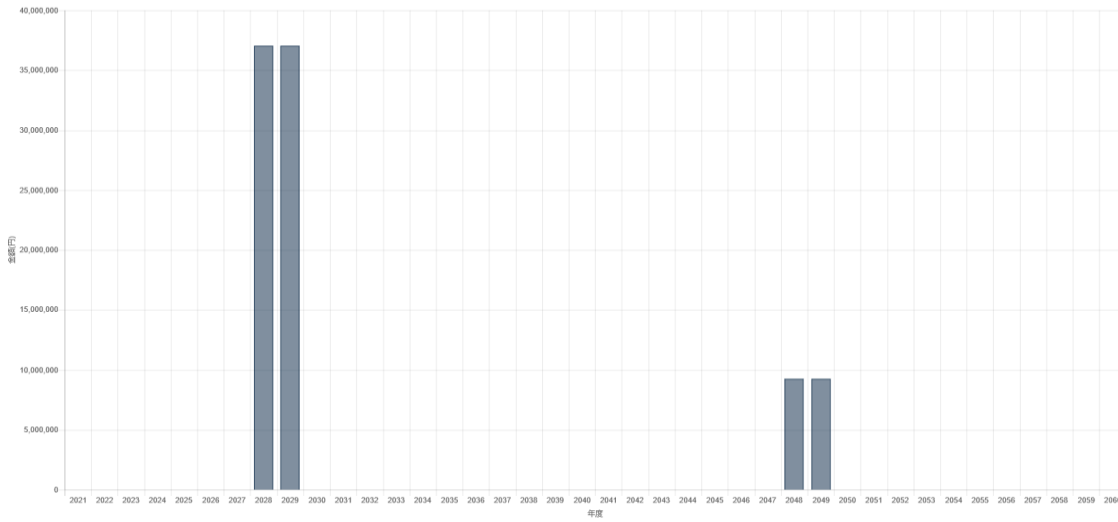
医療施設

医療施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
医療施設	診療所	1	185.10 m ²
合計		1	185.10 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替 0.9億円 / 1年あたり 0.02億円



医療施設

No.	施設名称
1	加茂谷診療所

1 施設の基本情報

施設名称	加茂谷診療所		
所在地	加茂町野上30、31、32		
施設分類	医療施設	所管課	保険年金課
延床面積(対象)	185.10 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	診療施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
加茂谷診療所	185.10 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化に伴い、修繕が必要な箇所が多くなってきている。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	健康増進のための診療施設として重要な施設であり、今後も適切な維持管理を行い継続利用する。
計画期間	—

第 4 章 個別施設計画

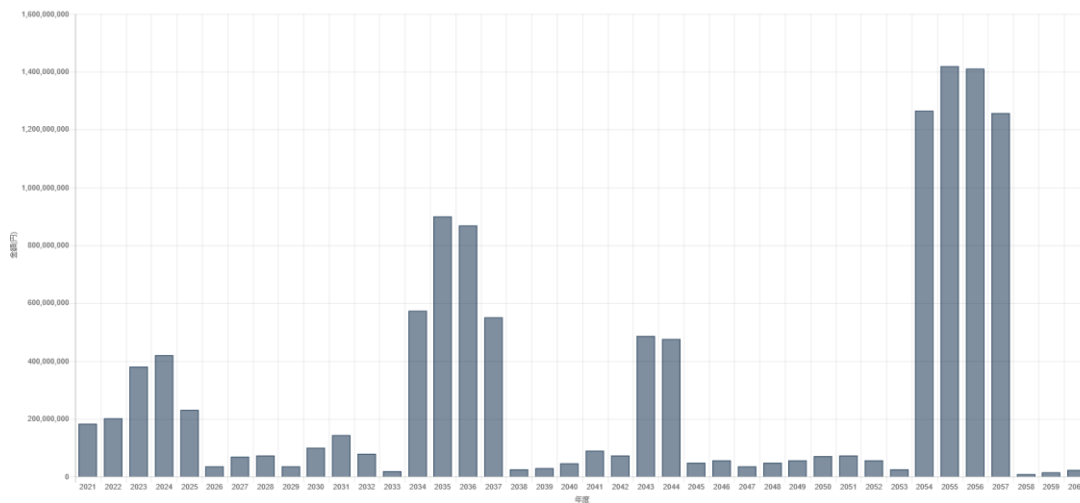
行政系施設

行政系施設

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
庁舎等	市役所庁舎	4	21,137.60 m ²
	支所	2	4,341.64 m ²
	消費者生活室	1	54.16 m ²
	富岡防災倉庫	1	189.00 m ²
消防施設	消防署	3	4,762.75 m ²
	消防団詰所	70	5,097.55 m ²
その他行政系施設	環境管理事務所	1	2,509.77 m ²
合計		82	38,092.47 m ²

更新費用推計グラフ

今後40年間改修・建替費用 119.5億円 / 1年あたり 3億円



行政系施設

No.	施設名称	No.	施設名称
1	市役所本庁舎	51	消防団加茂谷分団第二班詰所
2	市役所旧第2仮庁舎	52	消防本部楠根地区水防倉庫
3	市役所第1駐車場	53	消防団桑野分団第二班詰所
4	市役所上中倉庫	54	消防団羽ノ浦分団第四班詰所
5	那賀川支所	55	消防団羽ノ浦分団第七班詰所
6	羽ノ浦支所	56	消防団見能林分団第三班詰所
7	消費生活室	57	消防団長生分団第五班詰所
8	富岡防災倉庫	58	消防団福井分団第三班詰所
9	消防本部庁舎	59	消防団中野島分団第一班詰所
10	消防署南出張所	60	消防団長生分団第一班詰所
11	消防署西出張所	61	消防団宝田分団第二班詰所
12	旧那賀川分団第一班詰所	62	消防団羽ノ浦分団第一班詰所
13	消防団橘分団第二班詰所	63	消防団那賀川分団第一班詰所
14	旧見能林分団第五班詰所	64	消防団羽ノ浦分団第二班詰所
15	消防団富岡分団第三班詰所	65	消防団富岡分団第一班詰所
16	旧桑野分団第四班詰所	66	消防団富岡分団第四班詰所
17	消防団長生分団第二班詰所	67	消防団中野島分団第二班詰所
18	消防団見能林分団第四班詰所	68	消防団中野島分団第三班詰所
19	消防団桑野分団第三班詰所	69	消防団新野分団第四班詰所
20	消防団那賀川分団第六班詰所	70	消防団富岡分団第五班詰所
21	消防団加茂谷分団第一班詰所	71	消防団那賀川分団第三班詰所
22	消防団宝田分団第一班詰所	72	消防団那賀川分団第二班詰所
23	消防団見能林分団第一班詰所	73	消防団那賀川分団第五班詰所
24	消防団新野分団第七班詰所	74	消防団羽ノ浦分団第三班詰所
25	消防団新野分団第一班詰所	75	消防団富岡分団第二班詰所
26	消防団富岡分団第六班詰所	76	消防団那賀川分団第四班詰所
27	消防団新野分団第六班詰所	77	消防団見能林分団第五班詰所
28	消防団大野分団第三班詰所	78	消防団椿分団第一班詰所
29	消防団羽ノ浦分団第五班詰所	79	消防団新野分団第二班詰所
30	消防団新野分団第五班詰所	80	環境管理事務所
31	消防団椿分団第四班詰所	81	消防団福井分団第一班詰所
32	消防団大野分団第二班詰所	82	消防団桑野分団第四班詰所
33	消防団桑野分団第五班詰所		
34	消防団加茂谷分団第六班詰所		
35	消防団新野分団第三班詰所		
36	消防団長生分団第四班詰所		
37	消防団橘分団第一班詰所		
38	消防団加茂谷分団第八班詰所		
39	消防団加茂谷分団第三班詰所		
40	消防団椿分団第二班詰所		
41	消防団羽ノ浦分団第六班詰所		
42	消防団長生分団第三班詰所		
43	消防団加茂谷分団第五班詰所		
44	消防団福井分団第二班詰所		
45	消防団椿分団第五班詰所		
46	消防団加茂谷分団第四班詰所		
47	消防団大野分団第一班詰所		
48	消防団加茂谷分団第七班詰所		
49	消防団福井分団第四班詰所		
50	消防団桑野分団第一班詰所		

1 施設の基本情報

施設名称	阿南市役所本庁舎		
所在地	阿南市富岡町トノ12-3		
施設分類	行政系施設	所管課	総務課
延床面積(対象)	20,617.60 m ²	避難所指定	緊急避難所
設置目的・役割	阿南市の拠点となる庁舎		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
市役所本庁舎高層部	10,195.54 m ²	RC造	H27.1	新耐震基準
市役所本庁舎低層部	10,422.06 m ²	RC造	H29.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	平成29年3月に建替えを行った新しい庁舎であり、劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	設備の定期点検を実施し、計画的な予防保全の考え方に基づき、適切な維持管理・修繕等を実施する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	阿南市役所旧第2仮庁舎		
所在地	阿南市富岡町トノ12-3		
施設分類	行政系施設	所管課	総務課
延床面積(対象)	310.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	本庁舎建替時に仮庁舎の役割を担うため取得		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
市役所旧第2仮庁舎	310.00 m ²	RC造	S39.12	旧耐震基準・H18耐震診断

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁のひび割れや雨漏りが見受けられる。建物貸付のため1階部分を改修した。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	令和元年度に徳島県及びシルバー人材センターと10年間の建物賃貸借契約を締結しており、用途を終え次第随時除却予定。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	第1駐車場倉庫		
所在地	富岡町佃町540-1		
施設分類	行政系施設	所管課	総務課
延床面積(対象)	54.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	各課の備品を保管		
建物外観①		建物外観②	



2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
第1駐車場倉庫	54.00 m ²	RC造	S63.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁にひび割れ等があり、老朽化が著しい。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	改修工事等を行わず、老朽化により使用が困難となり次第除却する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	市役所上中倉庫		
所在地	上中町中原113-2		
施設分類	行政系施設	所管課	総務課
延床面積(対象)	156.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	各課の備品を保管		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
市役所上中倉庫	156.00 m ²	S造	H13.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	使用において支障となるような課題はない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	改修工事等を行わず、老朽化により使用が困難となり次第除却する。
計画期間	第3期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川支所庁舎		
所在地	那賀川町苅屋323		
施設分類	行政系施設	所管課	那賀川支所
延床面積(対象)	2,135.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	行政サービスの拠点		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川支所庁舎	1,400.35 m ²	RC造	S43.10	旧耐震基準
那賀川支所庁舎(増築部)	62.44 m ²	RC造	S57.4	新耐震基準
那賀川支所庁舎(増築部)	477.71 m ²	RC造	S60.3	新耐震基準
那賀川支所庁舎無線室	195.00 m ²	S造	H5.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	雨漏り、外壁の亀裂等の老朽化が著しい。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設の老朽化が著しく、今後は利用率も低下していくことが予想される。那賀川支所庁舎無線室については、情報通信基盤施設の基地となっていることから、適切に維持管理を行い継続利用を図る。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	羽ノ浦支所庁舎		
所在地	羽ノ浦町中庄ナカレ16-3		
施設分類	行政系施設	所管課	羽ノ浦支所
延床面積(対象)	2,206.14 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	行政サービスの拠点。		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
羽ノ浦支所庁舎	1,058.84 m ²	RC造	S41.6	旧耐震基準
羽ノ浦地域交流センター	1,059.39 m ²	RC造	S44.7	旧耐震基準
羽ノ浦支所書庫	87.91 m ²	S造	H14.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	庁舎は築後50年が経過し、老朽化が著しく、施設内天井や壁に亀裂が多数発生している。羽ノ浦地域交流センターでは、雨漏りが生じている。書庫は現在においても他課の書類を多く保管している。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設の老朽化が著しいため、除却を検討している。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消費生活室		
所在地	羽ノ浦町中庄大知測41-13		
施設分類	行政系施設	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	54.16 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消費者協会(羽ノ浦)の事務所として使用		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消費生活室	54.16 m ²	S造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	特に目立った老朽箇所等は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用を行う
基本的な考え方	消費者協会(羽ノ浦)の事務所として貸付けしており、適宜点検や修繕等を行い、適切に維持管理を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	富岡防災倉庫		
所在地	富岡町トノ町11-1、12-1		
施設分類	行政系施設	所管課	危機管理課
延床面積(対象)	189.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	備蓄倉庫		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
富岡防災倉庫	189.00 m ²	S造	S53.1	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進行している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	避難所機能強化には災害対策用の備蓄資機材の充実が必要不可欠なため、備蓄倉庫として継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防本部庁舎		
所在地	辰己町1-33		
施設分類	行政系施設	所管課	消防総務課
延床面積(対象)	3,969.63 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防防災活動の拠点施設		
建物外観 (庁舎)		建物外観 (訓練棟)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防本部庁舎	3,489.29 m ²	RC造	H15.5	新耐震基準
消防本部 訓練棟	331.43 m ²	RC造	H15.5	新耐震基準
消防本部 公用車庫	148.91 m ²	S造	H15.5	新耐震基準
消防本部 東車庫	67.12 m ²	S造	R2.2.27	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	空調設備の改修工事を実施する必要がある。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	消防防災活動の拠点施設として、適宜必要な点検・改修等を行い、適切に施設の維持管理を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防署南出張所		
所在地	橘町大浦9-1		
施設分類	行政系施設	所管課	消防総務課
延床面積(対象)	366.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防防災活動の拠点施設		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防署南出張所	366.50 m ²	RC造	S57.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁に亀裂があるなど施設の老朽化が激しい。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	施設の老朽化が著しいうえに、地域防災計画において津波浸水区域にも指定されているため、施設を移転する必要がある。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防署西出張所		
所在地	長生町西方365-1		
施設分類	行政系施設	所管課	消防総務課
延床面積(対象)	359.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防防災活動の拠点施設		
建物外観 (出張所)		建物外観 (資機材庫)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防署西出張所	319.50 m ²	RC造	H17.10	新耐震基準
消防署西出張所 資機材庫	40.00 m ²	S造	H17.10	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	課題となるような劣化等は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	消防防災活動の拠点施設として、今後も適切な維持管理・修繕を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	旧那賀川分団第一班詰所		
所在地	那賀川町中島114-10		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	56.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
旧那賀川分団第一班詰所	56.00 m ²	S造	S49.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁トタン及びドア枠に錆びが見られる。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	新町協議会から行政財産使用申請があり貸付けをしている。施設の老朽化を考慮し、地元と協議を行い、用途を終え次第、除却を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団橘分団第二班詰所		
所在地	橘町鶴9-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団橘分団第二班詰所	48.00 m ²	S造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根の破損及び外壁塗装の剥がれ、屋外階段に劣化が見られる。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	別の場所に施設を建築中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	旧見能林分団第五班詰所		
所在地	見能林町念仏免4-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	53.84 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
旧見能林分団第五班詰所	53.84 m ²	RC造	S52.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	壁コンクリートにひび割れが見られる。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	石仏自主防災会より行政財産使用申請があり貸付けをしている。施設の老朽化を考慮し、地元と協議を行い、用途を終え次第施設の除却を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第三班詰所		
所在地	富岡町寿通105-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	79.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第三班詰所	79.50 m ²	木造	H30.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	平成30年に建築された建物であり、現在のところ劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	旧桑野分団第四班詰所		
所在地	内原町大谷22-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
旧桑野分団第四班詰所	48.00 m ²	S造	S54.11	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段に錆び及び外壁塗装に錆びが見られる。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	新施設が完成しており、除却を検討している。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第二班詰所		
所在地	長生町池ノ内1-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第二班詰所	48.00 m ²	S造	S55.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	コンクリートから鉄筋が見えており、シャッター及び屋外階段に錆。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、今後建替えを検討中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団見能林分団第四班詰所		
所在地	大瀨町210-62		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団見能林分団第四班詰所	48.00 m ²	S造	S55.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根コンクリートから鉄筋が見えており、屋外階段に錆びが見られる。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、今後建替えを検討中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第三班詰所		
所在地	桑野町宮ノ前38 地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第三班詰所	48.00 m ²	S造	S55.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁コンクリートの剥がれ及び天井・屋外階段に錆びが見られる。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、今後建替えを検討中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第六班詰所		
所在地	那賀川町黒地308-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	200.64 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第六班詰所	200.64 m ²	RC造	S56.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁全体がひび割れ、老朽化している。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、耐震診断を実施後、耐震改修等を検討している。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第一班詰所		
所在地	楠根町奥山17-9		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第一班詰所	48.00 m ²	S造	S56.12	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装が劣化しており、シャッター及び屋外階段に錆びが見られる。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	旧耐震基準であることから、今後建替えを検討中である。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団宝田分団第一班詰所		
所在地	宝田町中友79-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団宝田分団第一班詰所	48.00 m ²	S造	S57.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッター・屋外階段が錆びており、外壁が劣化している。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団見能林分団第一班詰所		
所在地	才見町田中23-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	48.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団見能林分団第一班詰所	48.00 m ²	S造	S57.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装に劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第七班詰所		
所在地	新野町西光寺179-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第七班詰所	49.56 m ²	S造	S57.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段全体に錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第一班詰所		
所在地	新野町西馬場21-7		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	60.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第一班詰所	60.00 m ²	S造	S58.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根コンクリートから鉄筋が見えており、シャッターの錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第六班詰所		
所在地	福村町南筋12-4		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第六班詰所	49.56 m ²	S造	S58.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装に劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第六班詰所		
所在地	新野町川亦99-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第六班詰所	49.56 m ²	S造	S58.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッター及び外壁塗装の劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団大野分団第三班詰所		
所在地	中大野町北傍示614-7		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団大野分団第三班詰所	49.50 m ²	S造	S60.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装の劣化及び2階待機室入口ドアの腐食
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第五班詰所		
所在地	羽ノ浦町古毛中須賀68-9		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	57.97 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部 (資機材庫)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第五班詰所	57.97 m ²	S造	S50.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁トタン及び屋根瓦が劣化しており、ドア等に錆びが見られる。
基本的な方針	更新を検討
基本的な考え方	老朽化が進んでいるため、施設の更新を行う。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第五班詰所		
所在地	新野町久田85-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第五班詰所	49.50 m ²	S造	S60.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装に劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団椿分団第四班詰所		
所在地	椿町加茂前65-4地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団椿分団第四班詰所	49.50 m ²	S造	S60.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装に劣化が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団大野分団第二班詰所		
所在地	上大野町城内68-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団大野分団第二班詰所	49.56 m ²	S造	S63.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	外壁塗装が劣化しており、シャッターに錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第五班詰所		
所在地	山口町森国117-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第五班詰所	49.56 m ²	S造	S63.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッター及び屋外階段に錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第六班詰所		
所在地	吉井町地神南79-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第六班詰所	49.56 m ²	S造	H1.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッターに錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第三班詰所		
所在地	新野町大歳434-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第三班詰所	49.56 m ²	S造	H1.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	シャッターに錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第四班詰所		
所在地	長生町北浦109		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第四班詰所	49.56 m ²	S造	H1.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段全体に錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団橘分団第一班詰所		
所在地	橘町豊浜33-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	100.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団橘分団第一班詰所	100.56 m ²	S造	H3.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋根及び外壁に塗装の剥がれがある。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第八班詰所		
所在地	水井町中野29-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第八班詰所	49.56 m ²	S造	H4.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段及びシャッターに錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第三班詰所		
所在地	十八女町静80-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	49.56 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第三班詰所	49.56 m ²	S造	H5.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団椿分団第二班詰所		
所在地	椿泊町小吹川原48		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	76.30 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団椿分団第二班詰所	76.30 m ²	S造	H6.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第六班詰所		
所在地	羽ノ浦町中庄大知淵41-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	107.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第六班詰所	107.50 m ²	S造	H6.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第三班詰所		
所在地	長生町舟田58		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	76.30 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第三班詰所	76.30 m ²	S造	H7.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第五班詰所		
所在地	熊谷町定方38-4		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	62.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第五班詰所	62.40 m ²	S造	H7.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団福井分団第二班詰所		
所在地	福井町動々原85-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	62.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団福井分団第二班詰所	62.40 m ²	S造	H7.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団椿分団第五班詰所		
所在地	伊島町瀬戸168		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団椿分団第五班詰所	72.80 m ²	S造	H7.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第四班詰所		
所在地	大井町東平156-7		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第四班詰所	72.80 m ²	S造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団大野分団第一班詰所		
所在地	下大野町松ノ本23-6		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団大野分団第一班詰所	72.80 m ²	S造	H9.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	2階待機室の天井に雨漏り跡が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第七班詰所		
所在地	加茂町南不ヶ35-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第七班詰所	72.80 m ²	S造	H10.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	2階待機室の天井に雨漏り跡が見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団福井分団第四班詰所		
所在地	福井町色面142-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団福井分団第四班詰所	72.80 m ²	S造	H10.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第一班詰所		
所在地	桑野町中野115-7		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	74.66 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第一班詰所	74.66 m ²	S造	H11.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団加茂谷分団第二班詰所		
所在地	深瀬町岡崎31		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団加茂谷分団第二班詰所	72.80 m ²	S造	H12.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防本部楠根地区水防倉庫		
所在地	楠根町新田187-3地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	66.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防本部楠根地区水防倉庫	66.00 m ²	S造	H12.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第二班詰所		
所在地	阿瀬比町中村20-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第二班詰所	72.80 m ²	S造	H13.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第四班詰所		
所在地	羽ノ浦町古庄古野神13-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	125.31 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第四班詰所	125.31 m ²	S造	H13.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第七班詰所		
所在地	羽ノ浦町春日野1-117		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	172.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第七班詰所	172.50 m ²	SRC造	H13.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団見能林分団第三班詰所		
所在地	中林町原23-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団見能林分団第三班詰所	72.80 m ²	S造	H14.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第五班詰所		
所在地	長生町西方585-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	62.54 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第五班詰所	62.54 m ²	S造	H15.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	屋外階段全体に錆びが見られる。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団福井分団第三班詰所		
所在地	福井町日ノ地340-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	42.24 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団福井分団第三班詰所	42.24 m ²	RC造	H16.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	集約化・複合化を検討
基本的な考え方	分団詰所機能が廃止されたため、除却を予定している。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	消防団中野島分団第一班詰所		
所在地	柳島町中川原6-1地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団中野島分団第一班詰所	72.80 m ²	S造	H18.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団長生分団第一班詰所		
所在地	長生町楠ノ元6-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団長生分団第一班詰所	72.80 m ²	S造	H19.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団宝田分団第二班詰所		
所在地	宝田町今市前ヶ原17-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団宝田分団第二班詰所	72.80 m ²	S造	H20.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第一班詰所		
所在地	羽ノ浦町中庄ナカレ16-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	72.80 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第一班詰所	72.80 m ²	S造	H20.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第一班詰所		
所在地	那賀川町中島420-6		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第一班詰所	86.40 m ²	S造	H21.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第二班詰所		
所在地	羽ノ浦町宮倉本村居内50-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第二班詰所	86.40 m ²	S造	H21.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第一班詰所		
所在地	富岡町車ノ口13-5地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	120.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第一班詰所	120.00 m ²	S造	H22.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第四班詰所		
所在地	日開野町九反ヶ坪939-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第四班詰所	86.40 m ²	S造	H22.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団中野島分団第二班詰所		
所在地	横見町上木戸16-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団中野島分団第二班詰所	86.40 m ²	S造	H22.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団中野島分団第三班詰所		
所在地	上中町南島752-8		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団中野島分団第三班詰所	86.40 m ²	S造	H23.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第四班詰所		
所在地	新野町小砂取37-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第四班詰所	86.40 m ²	S造	H23.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第五班詰所		
所在地	畷町新はり221		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第五班詰所	86.40 m ²	S造	H24.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第三班詰所		
所在地	那賀川町大京原422-2		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第三班詰所	86.40 m ²	S造	H24.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第二班詰所		
所在地	那賀川町今津浦免許159		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第二班詰所	86.40 m ²	S造	H25.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第五班詰所		
所在地	那賀川町上福井元畷157-5		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第五班詰所	86.40 m ²	S造	H25.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団羽ノ浦分団第三班詰所		
所在地	羽ノ浦町岩脇姥ヶ原51-18地先		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団羽ノ浦分団第三班詰所	86.40 m ²	S造	H26.5	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団富岡分団第二班詰所		
所在地	富岡町トノ町109-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団富岡分団第二班詰所	86.40 m ²	S造	H26.5	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団那賀川分団第四班詰所		
所在地	那賀川町江野島585-13		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団那賀川分団第四班詰所	86.40 m ²	S造	H27.5	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団見能林分団第五班詰所		
所在地	見能林町林崎139-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	86.40 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団見能林分団第五班詰所	86.40 m ²	S造	H27.8	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団椿分団第一班詰所		
所在地	椿泊町寺谷1-1		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	91.09 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団椿分団第一班詰所	91.09 m ²	木造	H28.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団新野分団第二班詰所		
所在地	新野町是国122-3		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	79.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団新野分団第二班詰所	79.50 m ²	木造	H29.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	現在のところ特に問題はない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	環境管理事務所		
所在地	富岡町あ王谷35-1、35-4		
施設分類	行政系施設	所管課	生活環境課
延床面積(対象)	2,509.77 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	家庭ごみ収集運搬を行う拠点		
建物外観 (事務所)		建物外観 (機械棟)	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
環境管理事務所	1,544.96 m ²	RC造	H7.11	新耐震基準
環境管理事務所 機械棟	53.58 m ²	RC造	H8.3	新耐震基準
環境管理事務所 洗車棟	386.25 m ²	S造	H8.3	新耐震基準
環境管理事務所 車庫棟	524.98 m ²	S造	H8.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	課題となるような劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	継続的に施設を運用していくために、必要に応じて適宜点検、改修等を行う。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団福井分団第一班詰所		
所在地	福井町高田67-6		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	79.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団福井分団第一班詰所	79.50 m ²	木造	R1.9	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	課題となるような劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	消防団桑野分団第四班詰所		
所在地	内原町山下67-6		
施設分類	行政系施設	所管課	警防課
延床面積(対象)	79.50 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	消防団詰所		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
消防団桑野分団第四班詰所	79.50 m ²	木造	R2.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	課題となるような劣化は見受けられない。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害対応に必要であり、今後も継続利用する。
計画期間	—

第 4 章 個別施設計画

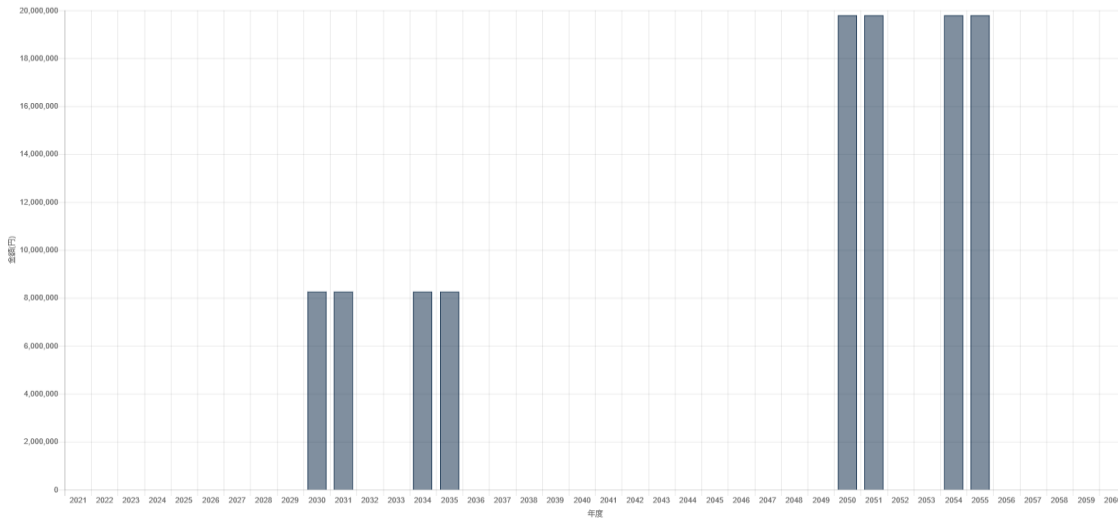
公 園

公園

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
公園	倉庫等	3	400.00 m ²
合計		3	400.00 m ²

更新費用推計グラフ

40年間改修・建替費用 1.1億円 / 1年あたり 0.02億円



公園

No.	施設名称
1	ゆたか野地区防災公園備蓄倉庫
2	橘地区防災公園備蓄倉庫
3	津乃峰地区防災公園備蓄倉庫

1 施設の基本情報

施設名称	ゆたか野地区防災公園備蓄倉庫		
所在地	那賀川町豊香野39、外		
施設分類	公園	所管課	公園緑地課
延床面積(対象)	100.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難
設置目的・役割	地震等に対応した備蓄保管		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
ゆたか野地区防災公園備蓄倉庫	100.00 m ²	S造	H22.12	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	日常点検等による修繕箇所の把握をする。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害時における水・食料等の供給確保のため必要不可欠な施設。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	橘地区防災公園備蓄倉庫		
所在地	橘町西浦58、外		
施設分類	公園	所管課	公園緑地課
延床面積(対象)	100.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難
設置目的・役割	地震等に対応した備蓄保管		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
橘地区防災公園備蓄倉庫	100.00 m ²	S造	H23.1	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	日常点検等による修繕箇所の把握をする。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害時における水・食料等の供給確保のため必要不可欠な施設。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	津乃峰地区防災公園備蓄倉庫		
所在地	津乃峰町西分213-1、外		
施設分類	公園	所管課	公園緑地課
延床面積(対象)	200.00 m ²	避難所指定	緊急避難所・指定避難
設置目的・役割	地震等に対応した備蓄保管		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
津乃峰地区防災公園備蓄倉庫	200.00 m ²	S造	H27.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	日常点検等による修繕箇所の把握をする。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	災害時における水・食料等の供給確保のため必要不可欠な施設。
計画期間	—

第 4 章 個別施設計画

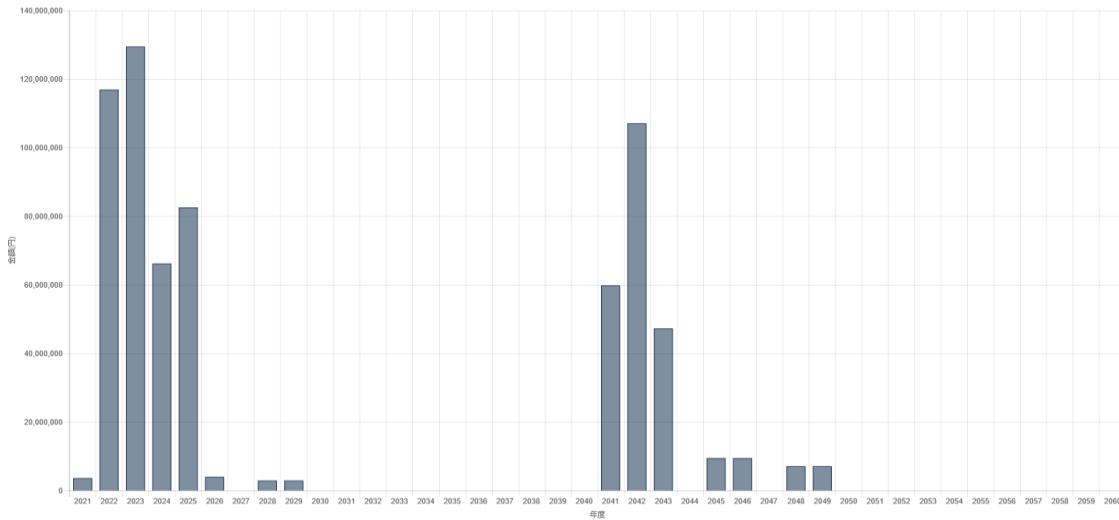
その他

その他

中分類	小分類	令和元年度末	
		施設数	延床面積
その他	葬斎場	1	1,138.22 m ²
	教員住宅	6	1,060.00 m ²
	共同作業所	9	1,827.14 m ²
	その他	1	65.52 m ²
合 計		17	4,090.88 m ²

更新費用推計グラフ



今後40年間改修・建替費用 6.6億円 / 1年あたり 0.2億円



その他

No.	施設名称
1	葬斎場
2	福井南小教員住宅
3	椿泊小教員住宅
4	大井小教員住宅
5	那賀川教員住宅
6	蒲生田小教員住宅
7	伊島小中教員住宅
8	土井共同作業場
9	長岡東共同作業場
10	住吉共同作業場
11	大野共同作業場
12	大京原養まん飼料共同作業場
13	黒地共同作業所
14	大京原共同作業場
15	郡共同作業場
16	大京原しめ縄共同作業場
17	北の脇公衆便所

1 施設の基本情報

施設名称	葬斎場		
所在地	富岡町西池田51-3		
施設分類	その他	所管課	市民生活課
延床面積(対象)	1,138.22 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	定住自立圏の火葬場として稼働している。		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
葬斎場	1,049.85 m ²	RC造	S57.8	新耐震基準
葬斎場(増築部)	88.37 m ²	RC造	H18.2	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	電気系統の劣化などが見受けられる。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	適宜改修等を行い施設を適切に維持管理する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	福井南小教員住宅		
所在地	福井町日ノ地119-1		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	181.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員ための住宅		
建物外観①		建物外観②	


2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
福井南小教員住宅	75.00 m ²	木造	S51.3	旧耐震基準
福井南小教員住宅	106.00 m ²	RC造	S61.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	椿泊小教員住宅		
所在地	椿泊町東		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	81.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
椿泊小教員住宅	81.00 m ²	木造	S53.1	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大井小教員住宅		
所在地	大井町中筋24		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	68.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大井小教員住宅	68.00 m ²	木造	S53.10	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	那賀川教員住宅		
所在地	那賀川町苅屋399-1		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	344.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
那賀川教員住宅	200.00 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準
那賀川教員住宅	144.00 m ²	RC造	S54.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	除施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	蒲生田小教員住宅		
所在地	椿町蒲生田		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	54.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
蒲生田小教員住宅	54.00 m ²	木造	S56.2	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでいる。現在施設利用者はいない。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	施設が老朽化し、利用者もいないため施設の廃止を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	伊島小中教員住宅		
所在地	伊島町瀬戸28-4-1		
施設分類	その他	所管課	教育総務課
延床面積(対象)	332.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	教員のための住宅		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
伊島小中教員住宅	332.00 m ²	木造	H4.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進んでおり修繕や改修が必要である。
基本的な方針	適切な維持管理を行い継続利用
基本的な考え方	施設利用者がいるため、適切に維持管理を行い施設を継続利用する。
計画期間	—

1 施設の基本情報

施設名称	土井共同作業場		
所在地	新野町西馬場26-6		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	99.17 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	資材倉庫として利用		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
土井共同作業場	99.17 m ²	S造	S42.3	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	長岡東共同作業場		
所在地	横見町長岡東15-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	372.71 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元住民のための共同作業場		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
長岡東共同作業場	372.71 m ²	S造	S54.9	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	住吉共同作業場		
所在地	住吉町須サキ258-2		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	120.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
住吉共同作業場	120.00 m ²	S造	S55.8	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大野共同作業場		
所在地	中大野町南傍示16-4		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	368.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大野共同作業場	368.00 m ²	S造	S55.9	旧耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原養まん飼料共同作業場		
所在地	那賀川町大京原1004-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	115.02 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原養まん飼料共同作業場	115.02 m ²	S造	S58.7	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	黒地共同作業所		
所在地	那賀川町黒地642-3		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	464.07 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
黒地共同作業所	464.07 m ²	S造	S60.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原共同作業場		
所在地	那賀川町大京原1065-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	102.21 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元の集会場の荷置き場として利用		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原共同作業場	102.21 m ²	S造	H2.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	郡共同作業場		
所在地	宝田町郡31-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	57.96 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元住民のための共同作業場として建設された		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
郡共同作業場	57.96 m ²	軽量鉄骨造	H2.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第1期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	大京原しめ縄共同作業場		
所在地	那賀川町大京原779-2		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	128.00 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	地元住民のための共同作業場として建設された		
建物外観		建物内部	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
大京原しめ縄共同作業場	128.00 m ²	S造	H9.3	新耐震基準

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	施設の老朽化が進み、維持管理費もかさむので、存続について検討が必要。
基本的な方針	施設保有量の最適化を検討
基本的な考え方	建物が老朽化して使用に耐えなくなった場合は、解体・除去を検討する。
計画期間	第2期計画期間

1 施設の基本情報

施設名称	北の脇公衆便所		
所在地	中林町原23-1		
施設分類	その他	所管課	商工観光労政課
延床面積(対象)	65.52 m ²	避難所指定	
設置目的・役割	北の脇海岸にある複合施設(トイレ・更衣室・シャワーデッキ)		
建物外観①		建物外観②	

2 施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積	構造	建築年	耐震基準・耐震化工事
北の脇公衆便所	65.52 m ²	RC造	不明	新耐震基準・H19改修工事

3 管理に関する基本的な方針等

管理上の課題	海沿いにあるため傷みが早く、修繕費が増加している。
基本的な方針	長寿命化を検討
基本的な考え方	北の脇海岸(海水浴場)利用者のための必要不可欠なトイレ等であり、今後も修繕を行いながら、施設の維持管理を行う。
計画期間	第2期計画期間